

## [参 考 資 料]

- 参考資料 I-1 学校法人東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]
- 参考資料 I-2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]
- 参考資料 I-3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]
- 参考資料 I-4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]
- 参考資料 II-1 セミナーハウス特別講義の実施状況の推移
- 参考資料 II-2 二村基金セミナーの実施状況の推移
- 参考資料 II-3 学部における入学年度別卒業状況の推移
- 参考資料 II-4 セミナーハウス大学院特別講義の実施状況の推移
- 参考資料 IV-1 機器センター設備利用状況の推移 (平成 13 年度～平成 17 年度)
- 参考資料 IV-2 大型研究設備購入状況の推移
- 参考資料 V-1 山口東京理科大学生涯学習センター事業実績 [平成 17 年度]
- 参考資料 V-2 山口東京理科大学生涯学習センター事業計画 [平成 18 年度]
- 参考資料 VI-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成 17 年度]
- 参考資料 VI-2 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム計画 [平成 18 年度]
- 参考資料 VII-1 生涯学習センタープログラム [平成 18 年度]
- 参考資料 VII-2 諏訪東京理科大学の地域との交流状況 [平成 18 年度]
- 参考資料 IX-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目



参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
創立125周年記念事業委員会	54名	法人が実施する創立125周年記念事業に関する重要事項について審議する。	1) 記念事業の基本方針及び基本計画に関する事項 2) 記念事業の実施に関する事項 3) 記念事業に伴う資金の募集に関する事項 4) その他理事長が特に必要と認める事項	周年記念事業事務局 周年募金事務局
企画・実行委員会	39名	記念行事の計画立案および運営に関する重要事項について審議する。	1) 記念行事の基本計画に関する事項 2) 記念行事の実施に関する事項	周年記念事業事務局
連絡協議会	16名	実行小委員会からの意見、報告等を調整し、その実行に当たる。	各実行小委員会の連絡調整に関する事項	
記念式典実行小委員会	7名	各実行小委員会の主催記念行事について審議する。	当該実行小委員会の主催記念行事の企画および実施に関すること	
記念シンポジウム実行小委員会	8名			
記念学生行事実行小委員会	15名			
記念出版実行小委員会	10名			
創立125周年記念事業募金委員会	80名	創立125周年記念事業委員会の下で、記念事業の遂行に必要な資金を募集することを目的とする。	1) 記念事業募金の基本計画に関する事項 2) 記念事業募金の推進に関する事項 3) 記念事業募金活動に関する事項 4) その他募金委員会が特に必要と認める事項	周年募金事務局
募金常任委員会	28名	創立125周年記念事業募金委員会の下で、募金事業に係る業務を掌理することを目的とする。		
募金推進委員	589名	募金常任委員会の下で、具体的な募金活動の推進および実行に当たる。		
個人情報保護委員会	7名	法人等における個人情報の保護に関する重要事項を審議する。	1) 法人等における個人情報の保護に関する事項 2) 法人等における個人情報の収集、利用、提供、開示、訂正等について、統括責任者から議された事項 3) その他法人等における個人情報の保護に関する重要事項	総務課
生涯学習センター運営委員会	14名	生涯学習センターの運営に関する事項を審議する。	1) センターの運営に関すること 2) センターが実施する各種講座等の企画及び実施に関すること 3) センターの予算及び決算に関すること 4) その他センターに関する重要事項	生涯学習課
財務委員会	5名	財政の健全化を図るとともに、安定した財政基盤を確立し、もって法人の維持発展に資することを目的とする。	1) 中長期財政計画に関すること 2) 予算及び決算に関すること 3) 財源の確保に関すること 4) 財務に関する諸規程の制定及び改廃に関すること 5) その他財政に関すること	経理課

参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
放射線安全委員会	20名	<p>本学における放射性同位元素（RI等）の安全管理の最高責任者である理事長を補佐するため、RI等の安全管理並びに使用に関して、調査・指導・助言等及び必要に応じて改善の勧告を行い、さらに、放射線障害の発生防止に関する事項について、理事長の諮問に応じ審議し、その結果を理事長に答申する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) RI等安全管理に関する意見具申</li> <li>2) RI等使用施設の新設、変更、保全及び廃止についての予備審査</li> <li>3) 学内の使用施設における安全確保の確認及び管理状況についての立入調査並びに必要に応じた改善の勧告</li> <li>4) 異常及び事故等の原因の調査並びにその事後処置</li> <li>5) 放射線障害の予防に関する規程の制定及び改廃に係る助言</li> <li>6) 大学における各学部、附属施設等の放射線及びRIの使用等に係る安全に関する問題の立案及び実施に対する協力及び調整</li> <li>7) その他放射線障害防止に関する必要事項の調査、指導及び助言</li> </ol>	管財課 (神楽坂)
防災管理委員会	23名	<p>本学における火災・地震・その他の災害の予防及び防止並びに人命の安全を期し、管理権限者（理事長）に具申を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 防災計画及び緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項</li> <li>2) 防災対象物、避難施設及び消防用設備等の維持管理及び改善に関する事項</li> <li>3) 自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項</li> <li>4) 災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項</li> <li>5) 消火、通報及び避難の訓練実施に関する事項</li> <li>6) 防災教育に関する事項</li> <li>7) この規程の改廃に関する事項</li> <li>8) その他防災管理上必要と認められる重要事項</li> </ol>	管財課 (神楽坂)
入学者選抜検討委員会	22名	<p>本学の入学者選抜の改善及び充実を図るため理事長又は学長の諮問に応じ右記に掲げる事項を審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入学者選抜に関する方針、選抜方法等の調査研究等に関する事項</li> <li>2) 本学学則第21条第7号に規定する者に係る入学資格審査に関する事項</li> </ol>	学務課
保健管理センター運営委員会	11名	<p>学生ならびに教職員に対する健康の保持増進を図り、もって大学における教育研究の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的としておりこれを審議する為、運営委員会を置く。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 管理運営の基本方針に関する事項</li> <li>2) 年間の事業計画に関する事項</li> <li>3) 予算及び決算に関する事項</li> <li>4) その他管理運営に関する重要事項</li> </ol>	保健管理センター事務課
衛生委員会	17名	<p>労働安全衛生法第18条の規定に基づき、職員の健康障害の防止および健康の保持増進に関する事項を審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関する事項</li> <li>2) 労働災害の原因及び再発防止対策で衛生にかかわるものに関する事項</li> <li>3) その他職員の健康障害の防止に関する重要事項</li> </ol>	保健管理センター事務課 野田事務部（庶務課） 久喜事務部
広報戦略委員会	14名	<p>法人及び大学の諸施策並びに教育研究活動及びその成果を社会に向けて発信するとともに、有為な人材を学生として大学へ迎え入れるための広報の在り方を戦略的に検討する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 法人及び大学の広報戦略に関する事項</li> <li>2) 法人及び大学の広報体制及び広報媒体に関する事項</li> <li>3) 委員会が設置した部会の改廃に関する事項</li> <li>4) その他広報に関する重要事項</li> </ol>	広報課
科学技術交流センター運営委員会	9名	<p>科学技術交流センターの運営について審議する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) センターの活動及びその事業計画に関すること</li> <li>2) センターの組織に係る管理運営に関すること</li> <li>3) センターの予算及び決算に関すること</li> <li>4) その他センターの目的達成に必要な活動に関すること</li> </ol>	研究支援課

参考資料 I - 1 学校法人東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 3)

委員会名	構成 員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
知財戦略 委員会	16名	知的財産本部の運営について審議する。	1)本部の業務及びその事業計画の基本方針等に関する事項 2)知的財産及び産学官連携に係る規程の制定及び改廃に関する事項 3)本部の組織に係る運営に関する事項 4)本部の予算及び決算に関する事項 5)その他本部の目的達成に必要な業務に関する事項	研究支援課
利益相反 委員会	13名	利益相反マネジメントに関する事項を審議する。	1)利益相反に係る規程等に関する企画立案 2)利益相反の具体的事例に関する検討等 3)その他利益相反に関すること	研究支援課
学内発 ベンチャー企業 審査委員会	9名	理事長からの諮問事項(学内発ベンチャー企業の許可の可否等)について審議する。	1)学内発ベンチャー企業の許可の可否に関する事項 2)その他学内発ベンチャー企業に関する事項	研究支援課
情報戦略 会	10名	情報科学教育・研究の推進並びに情報通信技術の活用に関する長期戦略及び展望について策定し、東京理科大学の運営に著実に反映させ、その活動を通じ東京理科大学等における教育・研究の更なる発展に寄与すること。	情報科学教育・研究の推進並びに情報通信技術の活用に関する長期戦略及び展望	情報企画課

参考資料 I - 2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務
二村基金事業運営委員会	9名	二村基金設立の趣旨に則り、基金による事業の適切な運営を図る。	1)事業計画の立案及び検討に関する事 2)事業運営に必要な規程等の制定改廃に関する事 3)事業の予算及び決算に関する事 4)その他重要事項に関する事	生涯学習課
排水処理委員会	12名	本学における排水の水質管理に関する事項を定め、排水による公害の発生を防止し、教職員、学生の健康ならびに生活環境の保全を図ることを目的とする。	1)本学の排水処理に関する具体的方策 2)その他排水処理に関する重要事項	管財課 (神楽坂) 管財課 (野田)
自己点検・評価運営委員会	20名	各部局に自己点検・評価実施委員会を設け、同実施委員会から報告された自己点検・評価の結果について総合的に分析及び検討を行い、本学の教育研究活動の状況について自己点検及び評価を行うことを目的とする。	1)自己点検・評価の基本方針、実施計画、項目等の策定に関する事 2)自己点検・評価の結果に関する事 3)自己点検・評価の結果に対する改善事項等に関する事 4)自己点検・評価の結果及び改善事項等の公表に関する事 5)その他自己点検・評価について必要な事項に関する事	庶務課
第三者評価受審委員会	10名	理事長及び学長の合同諮問委員会として、本委員会を置く。 本委員会は、平成 20 年度に財団大学基準協会の認証評価を受審するため、大学及び法人の自己点検・評価を実施、総括し、大学全体としての自己点検・評価報告書を取りまとめることを目的とする。	1)法人実施委員会及び大学実施委員会への助言及び監理に関する事項 2)自己点検及び評価項目の設定に関する事項 3)法人及び大学の各部局に対する自己点検・評価の報告の依頼及び提出された報告事項の確認に関する事項 4)大学基準協会に提出する自己点検・評価報告書の取りまとめに関する事項 5)大学基準協会資料の収集及び分析に関する事項 6)自己点検・評価のための調査研究に関する事項 7)その他自己点検・評価に必要な事項	企画調査課 及び庶務課
同和委員会	14名	同和問題に関する正しい理解と認識を深め、基本的人権の尊重に関する知識の向上を図る。	趣旨・目的達成のために必要な事項	庶務課
学委員長室会	10名	本学の運営を円滑に行うため、全学的な立場から本学の教育及び研究に関する必要な事項について検討する。	1)学部長会議の議題に関する事項 2)本学の教育及び研究に係る重要事項 3)その他学長が必要と認める事項	庶務課
学委員長室会 教育小委員会	5名	学長室委員会の下に、必要に応じて小委員会を設け、右記の事項に関する審議を行う。	1)学長所掌の補職及び委員会委員人事に関する事項 2)定員枠外専任教授の人事に関する事項 3)その他教育に関する学長の諮問事項	庶務課
学委員長室会 研究小委員会	6名	学長室委員会の下に、必要に応じて小委員会を設け、右記の事項に関する審議を行う。	1)研究計画に関する重要事項 2)特定研究助成金及び特別設備の選定に関する事項 3)研究助成金等の選定に関する事項 4)その他研究に関する学長の諮問事項	庶務課

参考資料 I - 2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 2)

委員会名	構成員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務
総合研究審議委員会	10 名	本学の研究組織を常にダイナミックでかつ高度に活性化された組織とし、学術研究を格段に発展させる研究プロジェクトを選定するために置く。	1)東京理科大学総合研究機構の各研究センターの設置及び改廃に関する事項 2)機構の各研究部門の設置及び改廃に関する事項 3)私立大学学術研究高度化推進事業に申請に関する事項 4)文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金、科学技術振興機構 (JST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 等が行う各種事業の競争的外部資金への申請に関する事項 5)学内研究資金の申請に関する事項 6)研究センター廃止後のスペースの用途に関する事項 7)その他委員会が必要と認めた事項	庶務課
総合研究評価委員会	12 名	東京理科大学における研究活動とその成果に対して、客観的な評価を行うために置く。	1)研究部門又は研究センターの当該研究プロジェクトの研究成果、研究実績及び研究の達成度 2)本学が選定した学内外の競争的研究資金の採択研究の研究成果、研究実績及び研究の達成度 3)その他本学の研究活動を活性化させるための活動委員会は、次に掲げる評価方法により評価を行う。 1)研究部門長、研究センター長又は各種研究資金受領者が作成した研究の進捗状況、成果、自己評価等に関する報告書による評価 2)その他ヒアリングによる評価、研究現場の視察等による評価	庶務課
国際交流委員会	16 名	本学における国際交流の充実及び発展を図るため。	1)外国の大学等との研究者及び学生の学術交流に関する事項 2)国際交流を促進するための企画、立案、資料収集及び広報活動に関する事項 3)国際交流を促進するために必要な外国及び国内の諸機関との連絡及び調整に関する事項 4)国際交流に係る予算に関する事項 5)国際交流に関する事業を運営するための組織の設立に関する事項 6)外国人留学生に関する事項 7)その他国際交流に関する事項	国際交流課
国際化戦略委員会	16 名	本学の国際化を推進するための基本方針を決定する。	1)本学の教育研究の国際化に関する基本方針 2)国際化に関する事業を企画及び立案する専門委員会並びに当該事業を運営するための組織に関する事項 3)国際化を促進するための基盤整備に関する事項 4)その他本学の国際化に関する事項	国際交流課
入学試験実施委員会	14 名	入学試験を円滑に実施するため。	当該年度における入学試験実施に関する事項	学務課
教育委員会	20 名	本学の教育の理念及び目標並びに教育の内容及び方法についての組織的な研修、調査及び研究を実施するとともに、本学の教育研究の質的改善及び向上に貢献することを目的とする。	1)教育課程の改善及び調整に関する事項 2)教育内容及び授業方法の改善のための組織的な研修、調査及び研究に関する事項 3)授業アンケートの企画及び運営に関する事項 4)シラバスの企画及び運営に関する事項 5)FD 活動に関する事項 6)その他教育研究の改善及び向上に関する事項	学務課

参考資料 I - 2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 3)

委員会名	構成員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務
機器センター運営委員会	12名	機器センターの設備の全学的な共同利用を図り、その運営を円滑に行う。	1)管理及び運営の基本方針に関する事項 2)設備の整備拡充計画に関する事項 3)設置の登録及び抹消並びに設備区分の指定及び改廃に関する事項 4)予算及び決算に関する事項 5)専任職員及び臨時職員の配置計画に関する事項 6)広報誌の発行に関する事項 7)その他運営に関する重要事項	学 務 課
教職課程委員会	46名	本学の教職課程に係る編成や運営について組織的な調査及び検討を行うとともに、その改善及び向上に努める。	1)教職課程の編成及び運営上の問題に関する事項 2)教育実習に関する事項 3)介護等の体験に関する事項 4)その他教職課程に関する事項	教 職 課 程 支 援 室
大学図書館委員会	5名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行うことにより、広く学術の発展に寄与するとともに、本学の教職員及び学生並びに本法人の関係者の教育研究に資することを目的とする。	1)図書館の運営に関する事項 2)図書館利用に係る諸規程の制定及び改廃に関する事項 3)図書館の連絡及び調整に関する事項 4)その他図書館に関する事項	図 書 館 課
神楽坂図書館委員会	20名	図書館規程第7条に基づき、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とし、右の事項を審議する。	1)大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2)神楽坂図書館に関する要望事項 3)各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4)その他図書館の目的達成のために必要な事項	図 書 館 課
野田図書館委員会	18名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とする。	1)大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2)野田図書館に関する要望事項 3)各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する事項 4)その他図書館の目的達成のために必要な事項	野田事務部 図 書 館 課
学生部会	22名		1)学生の厚生補導に関する重要事項及び各学部共通事項	学 生 課
公務員対策委員会	32名	公務員を志望する本学学生の進路に関する事項を審議検討し、公務員志望者に対して種々の施策を講ずることにより、公務員志望者の進路決定に寄与することを目的とする。	1)公務員を志望する本学学生の進路に対する助言及び指導に関する事項 2)公務員関係の進路支援のためのガイダンス、各種公務員試験対策講座、模擬試験並びに省庁業務説明会等の企画、立案及び実施に関する事項 3)公務員試験の傾向分析に関する事項 4)公務員試験に関する情報の収集に関する事項 5)その他公務員進路対策に関する事項	就 職 課
就職委員会	12名	全学的かつ長期的観点から、本学学生に対するキャリア形成教育及び進路指導に関する基本的方策を審議及び策定し、これらの業務に対する助言・支援とその点検・評価を行い、学生に対するキャリア形成教育及び進路指導の恒常的な改善を図ることを目的とする。	1)学生のキャリア形成教育に関する事項 2)学生の進路指導に関する事項 3)インターンシップの実施に関する事項 4)学生の卒業後のキャリアの調査に関する事項 5)その他本委員会の目的達成に必要な事項	就 職 課
産学連携担当委員会	33名	本学において産学連携を推進すること並びに本学において知的財産の創出拡充及び社会還元を推進することを目的とする。	1)各学科及び研究所における産学連携の実施 2)各学科等の教員からの産学連携及び知的財産に係る相談及び意見の取りまとめに関する事項 3)各学科等における産学連携及び知的財産に係る情報交換に関する事項 4)各学科等における産学連携及び知的財産に関して必要なこと	研究支援課



参考資料 I - 2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 4)

委員会名	構成員数	趣 旨・目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務
遺伝子組換え実験安全委員会 (旧組換えDNA実験安全委員会)	18名	実験の安全かつ適切な実施を確保するための学長の諮問機関。	1)実験に関する規則等の制定改廃に関する事項 2)実験計画の法令への適合性に関する事項 3)実験に使用する実験室(区域)の法令への適合性に関する事項 4)実験に係る教育訓練及び健康管理に関する事項 5)事故発生の際に必要な処置及び改善策に関する事項 6)その他実験の安全確保に関し必要な事項	研究事務課
情報科学教育・研究機構運営協議会	8名	情報科学教育・研究機構の設置目的(全学の学生に対する情報教育の高度高質化を図ると同時に先端的情報科学の研究を推進し、両者の有効な連携を図ることにより、本学の情報科学の教育及び研究の発展に貢献すること)の達成に必要な事項を審議する。	1)本学における情報教育の高度高質化及び先端的情報科学の研究推進に係る方針の企画及び立案に関すること 2)本学の教育研究に係る情報関係設備の整備計画に関すること 3)センターの設置及び改廃に関すること 4)センターの事業計画に関すること 5)センターの予算計画の立案に関すること 6)機構及びセンターの人事に関すること 7)センターの部門の設置及び改廃に関すること 8)機構、センター及び情報関係設備に関する諸規程の制定及び改廃に関すること 9)その他機構に係る重要事項に関すること	情報企画課
情報基盤整備委員会	9名	1)情報関係設備の整備に関する事項を審議し、運営協議会に提案する。 2)情報関係設備の運用に関する事項を審議する。	1)研究用電子計算機の導入に係る計画の立案に関すること 2)教育研究に係る情報ネットワークの整備に係る計画の立案に関すること 3)その他機構長が運営協議会に提案する情報関係設備の整備計画に関する事項のうち、機構長が特に必要と認めた事項に関すること 4)研究用電子計算機の運用及び利用調整に関すること 5)教育研究に係る情報ネットワークの利用及びセキュリティ管理に関すること	情報企画課
情報科学教育センター運営委員会	7名	センターの運営及び全学的情報教育の方針立案に関する審議を行う。	1)センターの運営に関すること 2)全学的情報教育の方針立案に関すること 3)情報教育の実施に係る設備の整備要望に関すること 4)その他センターの目的達成に必要な活動に関すること	情報企画課
東京理科大学情報倫理委員会	13名	東京理科大学における情報ネットワークの適正な利用を推進するため。	1)情報ネットワークの適正な利用に係る利用心得等の立案に関すること 2)利用者の遵守義務に反する情報ネットワークの不適正な利用が生じた場合における利用停止等の措置手順の立案に関すること。 3)不適正利用が生じた場合における当該不適正利用に関与した利用者に対する利用停止措置に関すること 4)運用責任者に対する不適正利用及びこれに係る利用停止措置等の報告に関すること	情報企画課
セミナーハウス運営委員会	11名	セミナーハウスは、本学の教育研究を助成する支援施設として、教職員等と学生が交流を深めることにより学生の人間形成に資すること及び地域社会との交流に供することを目的とする。	1)セミナーハウスの管理運営に関すること 2)セミナーハウスに関する規程等の制定及び改廃に関すること 3)セミナーハウスの予算及び決算に関すること 4)セミナーハウス主催事業等の立案に関すること 5)その他セミナーハウスに係る重要事項に関すること	野田事務部 庶務課 セミナーハウス 事務室

参考資料 I - 2 東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 5)

委員会名	構成員数	趣旨・目的	主な審議事項	担当事務
総合研究機構運営委員会	24 名	研究部および研究センター部の運営に関する事項を審議する。	1) 研究部門の設置、継続及び改廃に発議に関する こと 2) 研究部門における研究グループの設置に関する こと 3) 研究センター部等の人事に関する こと 4) 研究センター部等の事業計画に関する こと 5) 研究センター部等に関する研究スペース、設備 の管理に関する こと 6) 研究センター部等の予算及び決算に関する こと 7) 研究センター部等に関する諸規程等の制定及び 改廃の発議に関する こと 6) その他研究センター部等の管理・運営に関する こと	研究事務課
総合研究機構運営幹事会	5 名	総合研究機構運営委員会を円滑に運営させることを目的とする。	1) 総合研究機構運営委員会の審議及び報告事項の 議案の準備に関する こと 2) 総合研究機構運営委員会より付託された事項の 審議	研究事務課
研究センター運営委員会	74 名	センターの運営について審議する。 (* 各センター共通)	1) センターの事業計画に関する 事項 2) その他センターに関する 重要事項	研究事務課・ 研究支援課
生命科学研究所運営委員会	9 名	生命科学研究所長の諮問に応じて生命科学研究所に関する事項を審議する。	1) 運営の基本方針に関する 事項 2) 年間の事業計画に関する 事項 3) 研究所の予算に関する 重要事項 4) 規程等の改廃に関する 事項 5) 附属研究施設の設置及び改廃に関する 事項 6) その他人事、運営等に関する 重要事項	研究事務課
長万部図書館委員会	4 名	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他学術情報の収集、整理及び提供を行い、教育研究に資することを目的とする。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 長万部図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する 事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な 事項	長万部 事務部
長万部学寮運営委員会	7 名	学生の生活（福利、健康、衛生等）および学寮の運営に関する重要事項を審議する。	1) 寮生及び関係教職員からの要望事項等で、学寮 長が審議の必要があると認めた 事項 2) 長万部学寮運営委員会規程及び長万部学寮運営 規程の改廃に関する 事項 3) 長万部学寮運営委員会規程に定める運用に関する 事項 4) 寮生の福利、保健、衛生等に関する 事項 5) その他学寮の運営に関する 事項	長万部 事務部
久喜図書館委員会	4 名	理科大の図書館としての方針及び意図の徹底を図るとともに、経営学部としての養母を検討して教育研究に最大限に寄与する。	1) 大学図書館委員会委員長からの諮問事項 2) 久喜図書館に関する要望事項 3) 各地区の図書館その他の部局との連絡調整に関する 事項 4) その他図書館の目的達成のために必要な 事項	久喜事務部

参考資料 I - 3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
入試対策委員会	9名	本学の入学者選抜にかかる募集・出題・実施（推薦を含む）について調査研究等を行い、本学の入学者選抜の改善・充実のための施策について企画立案し、実施方法等を策定する。	1)学生募集に関する事項 2)入試実施に関する事項 3)入試業務全般に関する事項	学 務 課
図書館委員会	4名	図書館の運営に関する重要事項を審議する。	1)予算及び決算に関する事項 2)購読図書、雑誌、及び視聴覚資料の選定に関する事項 3)開館時間及び閉館中の図書館利用に関する事項 4)その他図書館全般の運営に関する事項	学 務 課
学生部委員会	5名	学生の厚生補導に関する事項について審議する。	1)学生に係る諸行事に関すること 2)学生の団体に関すること 3)学生の課外活動に関すること 4)学生相談に関すること 5)学生の賞罰に関すること 6)奨学生に関すること 7)その他学生の厚生補導全般に関すること	学 務 課
国際交流委員会	5名	本学における学術上の国際交流等教育職員の教育研究能力の向上に資する。	1)在外研究員等の派遣及び旅費支給に関する事項 2)海外の大学・研究機関等からの客員教授等の招へい及び経費配分に関する事項 3)海外の大学・研究機関等との教職員及び学生の交換についての協定に関する事項 4)客員教授等として招へいする者の生活上の便宜、福利厚生等に関する事項 5)国際交流を進めるための海外の大学・研究機関その他の実情調査、資料収集及び広報活動に関する事項 6)国際交流を進めるために必要な海外及び国内諸機関との連絡調整に関する事項 7)外国人留学生委員会との連絡調整に関する事項 8)その他国際交流に関する重要事項	学 務 課
外国人留学生委員会	7名	外国人留学生に関する事項のうち、全学的立場から特に検討を要する事項について審議し、必要な措置を行う。	1)厚生補導に関する事項 2)修学指導に関する事項 3)入学及び教育課程に関する事項 4)学生の受入れ等に関する事項 5)国際交流委員会および学生部委員会との連絡調整に関する事項 6)その他外国人留学生に関する重要事項	学 務 課
機器センター運営委員会	4名	本学機器センター設備の全学的な共同利用を図り、その運営を円滑に行う。	1)管理及び運営の基本方針に関する事項 2)設備の整備拡充計画に関する事項 3)設備の登録および抹消並びに設備区分の指定及び改廃に関する事項 4)予算及び決算に関する事項 5)臨時職員の配置計画に関する事項 6)広報誌の発行に関する事項 7)その他機器センターの運営に関する重要事項	庶 務 課

参考資料 I - 3 山口東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 2)

委員会名	構成 員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
防災管理委員会	6名	本学における火災・地震・その他の災害の予防ならびに人命の安全を期し、管理権限者（理事長）に具申を行う。	1)防災計画・緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項 2)防災対象物・避難施設及び消防用設備等の維持管理並びに改善に関する事項 3)自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項 4)災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項 5)消火、通報および避難の訓練実施に関する事項 6)防災教育に関する事項 7)この規程の改廃に関する事項 8)その他防災管理上必要と認められる重要事項	庶務課
生涯学習センター運営委員会	6名	本学生涯学習センターの重要事項を審議する。	1)地域の社会人等、特に企業人・教員を対象とした公開講座、講習会及び講演会の開催 2)地域の企業等に対する技術指導および共同研究等の推進 3)その他センターの目的達成に必要な活動	庶務課
排水処理委員会	4名	本学における排水の水質管理に関する事項を定め、排水による公害の発生を防止し、教職員及び学生の健康及び生活環境の保全を図る。	排水処理実施要項の策定等、排水処理に関する具体的方策に関する事項	庶務課
情報倫理委員会	3名	本学における情報ネットワークの適正な利用の推進をはかる。	1)情報ネットワークの利用心得の立案。 2)情報ネットワークの不適正な利用に係る利用停止措置等の対応。	庶務課

参考資料 I - 4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 1)

委員会名	構成員数	目的	主な審議事項	担当事務局
防災管理委員会	7名	本学における火災、地震その他の災害の予防及び防止並びに人命の安全を期し、管理権限者に具申を行う。	1) 防災計画及び緊急事態発生時の措置の立案及び変更に関する事項 2) 防災対象物、避難施設及び消防用設備等の維持管理及び改善に関する事項 3) 自衛消防組織の編成、任務及び装備に関する事項 4) 災害発生時における隣接防災対象物との相互支援及びその協定に関する事項 5) 消火、通報及び避難の訓練実施に関する事項 6) 防災教育に関する事項 7) 本委員会規程の改廃に関する事項 8) その他防災管理上必要と認められる重要事項	庶務課
情報委員会	7名	学長の諮問機関として、情報に関する重要事項について審議する。	1) 情報教育及び教材の電子化に関する事項 2) 情報発信に関する事項 3) 情報倫理に関する事項 4) その他情報に関する重要事項	庶務課
情報倫理委員会	6名	本学における情報ネットワークに係る適正な利用の推進を図るための必要な事項を審議する。	1) 情報ネットワークの適正な利用に係る利用心得等の立案に関する事項 2) 利用者の遵守義務に反する情報ネットワークの不正な利用が生じた場合における利用停止等の措置手順の立案に関する事項 3) 不適正利用が生じた場合における当該不適正利用に關与した利用者に対する利用停止措置に関する事項 4) 運用責任者に対する不適正利用及びこれに係る利用停止措置等の報告に関する事項	庶務課
研究交流委員会	7名	学長の諮問機関として、学外との研究交流に関する事項について審議する。	1) 産学官連携事業に関する事項 2) 共同研究施設の利用に関する事項 3) その他研究交流に関する重要事項	庶務課
生涯学習センター運営委員会	6名	本学の研究成果及び教育機能を活用し、広く学内外に生涯学習機会を提供し、キャリア開発及び多様な学習意欲に応える活動を通し、地域社会に貢献する。	1) 地域の社会人等、特に企業人を対象にした公開講座、講習会及び講演会の開催に関する事項 2) 小学生、中学生、高校生等に対する科学啓蒙活動推進のための事業に関する事項 3) 本学の学生を対象にした資格取得講座等の開催に関する事項 4) その他生涯学習に関する重要事項	庶務課
入試広報委員会	13名	本学の入学者選抜に関する基本方針に基づき必要事項を審議する。	1) 入試広報活動の企画及び実施に関する事項 2) 本学の公式ホームページの作成及び維持管理に関する事項 3) 本学案内パンフレットの作成に関する事項 4) その他入試広報に関する重要事項	庶務課
自己点検・評価委員会	9名	本学の教育研究活動の状況についての自己点検・評価を行う。	1) 自己点検・評価の基本方針、実施計画、項目等の策定に関する事項 2) 自己点検・評価の結果に関する事項 3) 自己点検・評価の結果に対する改善事項等に関する事項 4) 自己点検・評価の結果および改善事項等の公表に関する事項 5) その他自己点検・評価に関する必要な事項	庶務課
地域貢献評価委員会	7名	本学の設置理念の1つとして掲げている地域社会への貢献について外部機関による評価を行う。	1) 本学の設置理念および教育研究上の目的を達するために必要な事項 2) 本学の運営に関する事項 3) その他大学が特に必要と認める事項	庶務課
図書館委員会	5名	図書館の運営に関する重要事項を審議する。	本学の設置する図書館の運営に関する重要事項	学務課

参考資料 I - 4 諏訪東京理科大学の委員会活動状況 [平成 18 年度]

(その 2)

委員会名	構成 員数	目 的	主 な 審 議 事 項	担当事務局
学 生 部 委 員 会	6 名	学生の厚生補導に関する事項について審議する。	学生の厚生補導に関する事項	学 務 課
国際交流委員会	6 名	学長の諮問機関として、本学における学術上の国際交流等教育職員の教育研究能力の向上に関する事項について審議する。	1)在外研究員等の派遣及び旅費支給に関する事項 2)海外の大学、研究機関等からの客員教授等の招聘及び経費配分に関する事項 3)海外の大学、研究機関等との教職員及び学生の交換についての協定に関する事項 4)客員教授等として招聘する者の生活上の便宜、福利厚生等に関する事項 5)国際交流を進めるための海外の大学、研究機関との他の実情調査、資料収集及び広報活動に関する事項 6)国際交流を進めるために必要な海外及び国内の諸機関との連絡調整に関する事項 7)諏訪東京理科大学外国人留学生委員会との連絡調整に関する事項 8)その他国際交流に関する事項	学 務 課
外国人留学生委員会	7 名	学長の諮問機関として、外国人留学生に関する事項のうち、全学的立場から特に検討を要する事項について審議し、必要な措置を行う。	1)厚生補導に関する事項 2)修学指導に関する事項 3)入学及び教育課程に関する事項 4)学生の受入れに関する事項 5)諏訪東京理科大学国際交流委員会及び諏訪東京理科大学学生部委員会との連絡調整に関する事項 6)その他外国人留学生に関する重要事項	学 務 課
入学者選抜検討委員会	8 名	本学の入学者選抜の改善及び充実を図るため、理事長又は学長の諮問に応じ、必要事項を審議する。	1)入学者選抜に関する基本戦略、方針、選抜方法等の調査研究に関する事項 2)本学の学則に規定する者に係る入学資格審査に関する事項	学 務 課

## 参考資料Ⅱ-1 セミナーハウス特別講義の実施状況の推移

回数	出版	題 目	期 間	受講者	講 師
1		生命科学	昭和 51 年 7 月 20 日～22 日	133( 20)	10(0)
2	○	科学と私	52 年 7 月 19 日～21 日	173( 29)	7(3)
3		表面	53 年 7 月 16 日～18 日	77( 5)	8(0)
4	○	宇宙からの情報とその解説	54 年 2 月 5 日～ 6 日	128( 13)	6(4)
5		現代の不安と青年期	54 年 7 月 16 日～18 日	34( 2)	10(3)
6		太陽エネルギーとその応用	55 年 2 月 4 日～ 5 日	53( 2)	6(3)
7	○	科学と私(2)	55 年 7 月 16 日～18 日	43( 15)	8(5)
8		地底からの情報とその解説	56 年 2 月 4 日～ 5 日	101( 10)	5(5)
9		日本文化のルーツと特徴を探る	56 年 7 月 9 日～11 日	170( 13)	8(6)
10		生命からの情報とその解説	57 年 2 月 4 日～ 5 日	211( 47)	7(3)
11	○	世界の中の日本	57 年 7 月 9 日～11 日	69( 7)	8(6)
12		極限の世界に挑戦する	58 年 2 月 4 日～ 5 日	113( 10)	6(3)
13	○	コミュニケーション	58 年 7 月 9 日～11 日	137( 20)	8(6)
14		生命の神秘を探る	59 年 2 月 4 日～ 5 日	164( 49)	5(4)
15	○	金属と人間	59 年 7 月 8 日～10 日	116( 9)	7(7)
16	○	日本人のルーツを探る	60 年 2 月 3 日～ 4 日	162( 50)	5(4)
17		Man&Woman	60 年 7 月 16 日～18 日	99( 27)	6(4)
18		ことば-その伝統と未来-	61 年 2 月 4 日～ 5 日	152( 23)	5(4)
19		先端技術を支える新素材-その現状と展望-	61 年 7 月 16 日～18 日	91( 9)	7(4)
20		宗教と民族と世界観	62 年 2 月 4 日～ 5 日	126( 34)	5(4)
21	○	人間と自然環境	62 年 7 月 16 日～18 日	139( 31)	7(4)
22	○	現代の宇宙観	63 年 7 月 16 日～18 日	137( 37)	8(7)
23		モラル-その源流から考察-	63 年 8 月 29 日～31 日	119( 32)	8(7)
24	○	エネルギー利用の現状と展望	平成元年 7 月 16 日～18 日	157( 17)	8(7)
25		日本の歩みと世界	元年 8 月 29 日～31 日	136( 30)	8(7)
26	○	地球環境の現状をめぐって	2 年 7 月 16 日～18 日	153( 16)	8(8)
27		世界の文学の面白さ	2 年 8 月 29 日～31 日	116( 25)	8(8)
28	○	考古学と古代日本文化-日本文化の基層をさぐる-	3 年 7 月 16 日～18 日	138( 17)	8(8)
29		深層心理の世界	3 年 8 月 29 日～31 日	130( 50)	8(7)
30	○	古生物の世界	4 年 7 月 16 日～18 日	132( 32)	8(8)
31		激動の現代	4 年 8 月 29 日～31 日	98( 14)	8(7)
32	○	科学技術 21 世紀のビジョン	5 年 7 月 16 日～18 日	144( 47)	8(8)
33		科学の歴史	5 年 8 月 29 日～31 日	85( 15)	8(8)
34	○	海洋科学の現状と展望	6 年 7 月 16 日～18 日	159( 47)	8(8)
35		現代日本の教育	6 年 8 月 29 日～31 日	125( 29)	8(6)
36	○	生命と医科学	7 年 8 月 1 日～ 3 日	161( 50)	8(7)
37		国際情勢はいま	7 年 9 月 15 日～17 日	137( 31)	8(7)
38	○	食の文化	8 年 8 月 1 日～ 3 日	175( 64)	8(8)
39		日本経済のこれから	8 年 9 月 15 日～17 日	137( 29)	8(8)
40	○	住の文化と環境	9 年 8 月 1 日～ 3 日	181( 59)	8(6)
41	○	心の糧-精神文化-	9 年 9 月 15 日～17 日	149( 57)	8(7)
42	○	天気をよむ-身近な気象学-	10 年 8 月 1 日～ 3 日	186( 58)	8(6)
43		アジアの新生	10 年 9 月 15 日～17 日	139( 37)	8(7)
44	○	水の惑星に住む-水と人との関わり-	11 年 8 月 1 日～ 3 日	185( 47)	8(7)
45	○	21 世紀の金融を考える	11 年 9 月 15 日～17 日	167( 33)	8(8)
46	○	先端バイオサイエンス-環境を中心に-	12 年 8 月 1 日～ 3 日	181( 74)	8(7)
47		日本と近隣諸国の比較文化・経済	12 年 9 月 17 日～19 日	162( 66)	8(8)
48	○	地震学、耐震工学の現状と課題	13 年 8 月 1 日～ 3 日	187( 56)	8(6)
49		世界の文学を語る	13 年 9 月 15 日～17 日	155( 62)	8(8)
50		心理学のいまを語る	14 年 8 月 1 日～ 3 日	186( 47)	8(6)
51	△	ゲノム科学とバイオテクノロジー	14 年 9 月 15 日～17 日	179( 75)	8(5)
52	△	環 境-生活から地球まで-	15 年 9 月 13 日～15 日	337( 117)	9(9)
53		国際理解への道-異文化交流を通じて-	16 年 8 月 1 日～ 3 日	266( 110)	9(8)
54	△	火災安全-建築火災安全工学研究の推進(COE) -	16 年 9 月 15 日～17 日	211( 35)	9(8)
55		21 世紀の教育を考える-社会貢献の視点から-	17 年 8 月 1 日～ 3 日	277( 54)	9(9)
56	*	ストレスと病氣-酸化ストレスの疾患への関与とその防御を探る-	17 年 9 月 10 日～12 日	329( 125)	9(8)

- (注) 1. 「受講者数」の( )内は女子学生数を、「講師数」の( )内は学外講師数を、それぞれ内数で示す。  
 2. 出版欄の○印は、特別教室出版シリーズとして刊行されたものを示し、\*印は出版シリーズから科学フォーラムに移行して掲載、△印は編集申または刊行予定を示す。  
 3. 平成 14 年度に諏訪東京理科大学、平成 16 年度に山口東京理科大学を受講対象とした。また、平成 15 年度に公開講座として一般人を受入れた。なお、この表の「受講者数」は、山口東京理科大学ならび諏訪東京理科大学の学生と一般人を含めていない。  
 4. 本学を受講定員数は平成 13 年度まで 200 名、平成 14 年度は 215 名、平成 15～17 年度 400 名とした。また、山口東京理科大学ならび諏訪東京理科大学を受講定員は各 30 名とした。  
 5. 平成 16 年 3 月まで、「セミナーハウス」は「特別教室」の名称を用いており、「セミナーハウス特別講義」の旧称は「特別教室セミナー」である。

## 参考資料Ⅱ-2 二村基金セミナーの実施状況の推移

回数	年 月	演 題 名	講 演 者	参加人数
1	昭和60年11月	古代日本人の謎	黛 弘 道	156
2	61年 6月	日本と日本文化	梅 原 猛	99
3	61年11月	日本文化の特質とその社会的基盤	中 根 千 枝	170
4	62年 6月	日本文化は心情文化を伴って	吉 田 賢 抗	189
5	62年11月	山人と平地人	谷 川 健 一	56
6	63年 6月	日本の近代化をめぐる	西 澤 潤 一	174
7	63年11月	幕末に生きる	網 淵 謙 錠	82
8	平成元年 6月	モノの近代化と生き方の近代化	樋 口 陽 一	40
9	元年11月	修験道・実践宗教と現代	久保田 展弘	91
10	2年 6月	日本文化のこころ	高 橋 富 雄	224
11	2年11月	今、日本文化を何故学ぶのか - その必要性とは	芳 賀 登	102
12	3年 6月	石の文化史から見た日本人	砂 川 一 郎	187
13	3年11月	日本民族の美意識の構造	糸 川 英 夫	163
14	4年 6月	神宮・神社と古代朝鮮	金 達 寿	148
15	4年10月	地下資源と日本文化	石 原 舜 三	214
16	5年 6月	禪と日本文化 - 十牛図を読む	柳 田 聖 山	178
17	5年10月	庶民文化としての俳諧 - 芭蕉とその後継者たち	堀 切 実	266
18	6年 6月	21世紀はアジアの時代	金 子 量 重	160
19	6年10月	生命誌 - 新しい生命の理解と生命観	中 村 桂 子	214
20	7年 6月	外来文化の摂取と日本文化 - 仏教考古学の視点	坂 詰 秀 一	124
21	7年10月	生命科学と文明	多 田 富 雄	154
22	8年 6月	箸と匙 - 東アジアの食文化の共通性と多様性	石 毛 直 道	79
23	8年10月	野田キャンパス周辺の歴史点描	下津谷 達 男	57
24	9年 6月	東洋医学の思想と心理について	春 木 豊	58
25	9年10月	科学技術の創造性と文化	大 村 智	124
26	10年11月	科学から観る日本社会 - 日本人の世界観と行動様式 -	市 川 惇 信	73
27	11年 6月	江戸時代と現代 - 江戸時代の日本人は日本をどう作ったか -	田 中 優 子	132
28	11年10月	タンポポ・ハウス建設記 - 自然と人工の新しい関係 -	藤 森 照 信	81
29	12年 5月	心としての宇宙 - 最近の話題作「日蝕」から -	中 西 進	42
30	12年11月	日本・日本文化・日本人 - 過去・現在・将来	佐 原 真	146
31	13年11月	地獄・極楽の絵に人生を読む - 熊野観心十界曼荼羅の宇宙 -	黒田 日出男	31
32	13年12月	発酵と人類の知恵	小 泉 武 夫	135
33	14年11月	731部隊から見た科学(者)のあり方	常 石 敬 一	85
34	14年11月	がんの分子標的治療	鶴 尾 隆	55
35	15年 6月	『社会科学的考え方』入門講座 - 経済社会の発展を考える -	片 岡 寛	10
36	16年12月	歌舞伎「勅進帳」観劇	松本幸四郎他	266
37	17年 6月	歌舞伎「毛抜」観劇	中村信二郎他	100
38	17年 6月	ものと美意識 「大英博物館の蔵が語る日本のこころ」	ビクター・ハリス	100
39	17年 7月	歌舞伎「義経千本桜」観劇	市川右近他	76
40	17年10月	歌舞伎「貞操花鳥羽恋塚」観劇	片岡孝太郎他	87
41	17年12月	文楽「鬼一法眼三略巻」観劇	竹本貴太夫他	36
42	17年12月	こころの風景	五 木 寛 之	121
43	17年12月	文楽「一谷歌軍記」観劇	竹本千歳太夫他	42
44	18年 5月	落語入門	金原亭馬生他	88
45	18年 6月	歌舞伎「国性爺合戦」観劇	中村信二郎他	50
46	18年10月	茶の湯と日本文化	熊 倉 功 夫	50
47	18年11月	能楽観賞「矢来能楽堂」	小 島 英 明	212
48	18年12月	文楽観賞「伊達娘恋緋鹿子」「恋女房染分手綱」「文楽のたのしみ」	茂山千五郎他	42



参考資料Ⅱ-3 学部における入学年度別卒業状況の推移

[昼間学部]

(その1)

区分		入学年度									
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
理学部 第一部	入学者数	808	748	740	775	866	799	900	747	782	797
	卒業生数	738	660	645	675	761	695	786	642	642	567
	卒業率	91.3	88.2	87.2	87.1	87.9	87.0	[87.3]	[85.9]	[82.1]	[71.1]
	最短卒業率	75.5	72.7	72.2	71.6	72.4	73.1	72.0	76.3	68.8	71.1
	平均在籍年数	4.25	4.24	4.22	4.24	4.25	4.25	-	-	-	-
薬学部	入学者数	182	173	185	199	186	241	194	190	206	191
	卒業生数	164	158	167	193	166	218	172	177	175	163
	卒業率	90.1	91.3	90.3	97.0	89.2	90.5	[88.7]	[93.2]	[85.0]	[85.3]
	最短卒業率	81.9	88.4	86.5	86.9	78.0	80.9	81.4	86.3	81.1	85.3
	平均在籍年数	4.10	4.04	4.06	4.16	4.17	4.17	-	-	-	-
工学部 第一部	入学者数	535	561	559	543	499	537	555	583	537	579
	卒業生数	498	505	522	508	453	493	513	531	459	490
	卒業率	93.1	90.0	93.4	93.6	90.8	91.8	[92.4]	[91.1]	[85.5]	[84.6]
	最短卒業率	78.1	78.8	80.3	74.2	74.7	76.9	75.0	77.9	78.0	84.6
	平均在籍年数	4.22	4.16	4.21	4.25	4.21	4.23	-	-	-	-

- (注) 1. 「卒業率」= 卒業生数 ÷ 入学者数。  
 2. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を [ ] 内に示した。  
 3. 「最短卒業率」= 最短卒業生数 ÷ 入学者数。  
 4. 「入学者数」は、当該年度の新入生数とする。  
 5. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計（5月1日現在）。

参考資料Ⅱ-3 学部における入学年度別卒業状況の推移

[昼間学部]

(その2)

区分		入学年度									
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
理工学部	入学者数	1,411	1,367	1,391	1,396	1,345	1,355	1,412	1,536	1,294	1,323
	卒業生数	1,294	1,255	1,287	1,262	1,224	1,245	1,296	1,415	1,158	1,057
	卒業率	91.7	91.8	92.5	90.4	91.0	91.9	[91.8]	[92.1]	[89.5]	[79.9]
	最短卒業率	74.7	75.5	73.1	74.4	76.7	78.7	76.8	80.5	79.4	79.9
	平均在籍年数	4.21	4.23	4.28	4.23	4.19	4.18	-	-	-	-
基礎工学部	入学者数	265	287	312	273	319	265	292	292	289	280
	卒業生数	248	274	296	254	296	252	274	275	263	222
	卒業率	93.6	95.5	94.9	93.0	92.8	95.1	[93.8]	[94.2]	[91.0]	[79.3]
	最短卒業率	76.6	82.2	76.3	72.5	77.4	71.3	71.9	76.7	79.9	79.3
	平均在籍年数	4.24	4.17	4.25	4.28	4.20	4.29	-	-	-	-
経営学部	入学者数	210	230	293	247	241	233	233	289	274	252
	卒業生数	187	205	258	216	213	216	211	252	247	201
	卒業率	89.0	89.1	88.1	87.4	88.4	92.7	[90.6]	[87.2]	[90.1]	[79.8]
	最短卒業率	80.5	81.3	76.5	82.2	77.6	82.8	81.1	74.7	84.3	79.8
	平均在籍年数	4.14	4.12	4.17	4.06	4.16	4.13	-	-	-	-
昼間学部合計	入学者数	3,411	3,366	3,480	3,433	3,456	3,430	3,586	3,637	3,382	3,422
	卒業生数	3,129	3,057	3,166	3,082	3,133	3,119	3,252	3,292	2,944	2,700
	卒業率	91.7	90.8	91.0	89.8	90.7	90.9	[90.7]	[90.5]	[87.0]	[78.9]
	最短卒業率	76.3	77.0	75.3	74.9	75.5	77.0	75.5	78.8	77.3	78.9
	平均在籍年数	4.22	4.20	4.23	4.22	4.18	4.21	-	-	-	-
全国平均	卒業率	92.0	91.8	91.5	91.1	89.7	89.6	[88.9]	[87.7]	[85.7]	[78.7]
	最短卒業率	82.1	81.9	80.9	80.1	79.0	79.0	78.7	78.2	78.0	78.7

- (注) 1. 「卒業率」= 卒業生数 ÷ 入学者数。  
 2. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を [ ] 内に示した。  
 3. 「最短卒業率」= 最短卒業生数 ÷ 入学者数。  
 4. 「入学者数」は、当該年度の新生人数とする。  
 5. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計（5月1日現在）。

参考資料Ⅱ-3 学部における入学年度別卒業状況の推移

[夜間学部]

(その3)

区分		入学年度									
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
理学部 第二部	入学者数	683	723	748	730	731	696	664	674	643	595
	卒業生数	475	484	496	524	494	452	451	385	370	300
	卒業率	69.5	66.9	66.3	71.8	67.6	64.9	[67.9]	[57.1]	[57.5]	[50.4]
	最短卒業率	49.9	49.0	43.9	48.8	47.5	44.8	45.0	38.7	44.8	50.4
	平均在籍年数	4.37	4.38	4.45	4.43	4.45	4.44	-	-	-	-
工学部 第二部	入学者数	239	241	250	254	290	274	263	282	261	243
	卒業生数	180	189	178	179	196	188	181	171	136	109
	卒業率	75.3	78.4	71.2	70.5	67.6	68.6	[68.8]	[60.6]	[52.1]	[44.9]
	最短卒業率	47.7	52.3	47.6	51.2	45.2	49.6	46.0	45.0	36.4	44.9
	平均在籍年数	4.49	4.51	4.52	4.51	4.51	4.45	-	-	-	-
夜間学部 合計	入学者数	922	964	998	984	1,021	970	927	956	904	838
	卒業生数	655	673	674	703	690	640	632	556	506	409
	卒業率	71.0	69.8	67.5	71.4	67.6	66.0	[68.2]	[58.2]	[56.0]	[48.8]
	最短卒業率	49.3	49.8	44.8	49.4	46.8	46.2	45.3	40.6	42.4	48.8
	平均在籍年数	4.40	4.42	4.48	4.43	4.47	4.45	-	-	-	-

- (注) 1. 「卒業率」=卒業生数÷入学者数。  
 2. 原級者が在籍している年度については、暫定的な卒業率を〔 〕内に示した。  
 3. 「最短卒業率」=最短卒業生数÷入学者数。  
 4. 「入学者数」は、当該年度の新入生数とする。  
 5. 「入学者数」、「卒業生数」は、学校基本調査票より集計（5月1日現在）。

## 参考資料Ⅱ-4 セミナーハウス大学院特別講義の実施状況の推移

回数	題 目	期 間	研究科等	受講者数
1	アロステリック効果	昭和49年 8月29日～31日	薬 学	31
2	膜	50年 8月27日～30日	薬 学	52
3	認識	51年 8月19日～22日	理 学	44
4	細胞表層の構造と機能	52年 8月 4日～ 6日	理 工 学	42
5	分子集合の生体制御	53年 8月21日～23日	薬 学	39
6	太陽エネルギーの変換	54年 8月22日～24日	薬 学	31
7	情報伝達	55年 8月21日～23日	薬 学	39
8	Modification -その方法と応用-	56年 8月24日～26日	理 学	57
9	酵素	57年 8月23日～25日	薬 学	37
10	生命科学	58年 9月 3日～ 4日	薬 学	41
11	Life Science	59年 7月17日～18日	薬 学	41
12	材料科学研究のポイント	61年 9月 6日	理 工 学	91
13	先端科学技術におけるスーパーコンピュータの応用	62年 7月20日～21日	工 学	100
14	火災の科学	63年 7月 9日	理 工 学	70
15	液晶の科学	平成元年 7月19日～20日	綜 研	103
16	情報、認識	2年 9月 1日	薬 学	91
17	地球環境とエネルギー	3年 9月 7日	理 工 学	136
18	生体と情報処理	4年 9月12日	基 礎 工	178
19	太陽エネルギーの利用	5年 9月11日	工 学	157
20	界面を探る -無生物から生物まで-	6年 7月13日	綜 研	118
21	高温超伝導研究の現状	7年 7月17日～18日	理 学	182
22	夢とロマンの科学	8年 7月 6日	薬 学	136
23	21世紀を目指したコンピュータとその応用	8年 6月21日	理 工 学	209
24	躍進する有機機能材料の研究開発	10年 6月20日	基 礎 工	119
25	免疫系の破綻と制御	11年 9月27日	生命科学	136
26	コミュニケーション改革	12年10月14日	工 学	155
27	物質科学の最先端	13年10月 6日	綜 研	161
28	数学の現場への招待	14年10月12日	理 学	99
29	これからの生命科学-生物、物理、化学の垣根を越えて-	15年12月 6日	薬 学	105
30	21世紀の火災科学-先端的建築火災安全工学研究の推進-	16年10月16日	理 工 学	99
31	未来を拓く再生医療-集学的テクノロジーの統合による再生医療に向けて-	17年10月15日	生命科学	102
32	癌の生物学と抗体医薬-細胞癌化の分子メカニズムと抗体医薬の開発と現状と将来を考える-	18年10月 7日	基 礎 工	196

(注) 平成16年4月より、特別教室の名称をセミナーハウスに改称したことに伴い、「特別教室大学院セミナー」は「セミナーハウス大学院特別講義」に改称した。

参考資料Ⅳ-1 機器センター設備利用状況の推移 (平成13年度～平成17年度)

(その1)

第一種設備	設備名	設置場所		回数(注)*...日数					時間(注)*...日数				
		年度	年度	平成13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	平成13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
第一種設備	二重取束GC質量分析計	野田	55	837	793	855	448	778					
	超伝導(固体)核磁気共鳴装置	野田	3			782			2,448	3,348	2,941	2,784	1,434
	LC-質量分析計	野田	5	1,554	1,179	1,260	1,189	1,087					
	核磁気共鳴装置	神楽坂	2						1,075	1,048	960	1,089	836
	熱面等方圧プレス装置	野田	60	214	250	201	181	181	788	968	790	572	513
	表面複合解析装置	神楽坂	61	62	3	59	67	48					
	高出力・波長可変レーザーシステム	野田	63	162	210	210		213	1,325	1,222	1,330	1,263	1,545
	半導体光物性測定装置	神楽坂	63	*17	0	0	登録抹消		27		0	登録抹消	-
	透過電子顕微鏡	野田	1	67	51	99	80	23	407	147	571	384	76
	光電子分光装置	野田	1	21	6	0	0	0	0	40	0	0	0
第二種設備	高精度X線回折装置	神楽坂	1	199	236	241	281	186	1,500	1,873	1,660	1,732	785
	全自動蛍光X線分析装置	神楽坂	2	*5	*7	7	7	10	*5	*7	*7	*7	20,000
	走査型トンネル・原子間力顕微鏡	神楽坂	3						1,870	2,015	1,260	651	225
	微小部軽元素分析電子顕微鏡	神楽坂	4	351	383	678	383	332					
	イメーシングX線分光装置	神楽坂	4	*15	43	36	44	55	*15	43	*36	*44	*55
	ハイオ・イメージング・アナライザー	野田	4	761	2,161	2,751	2,589	1,069					
	高温真空二軸疲労試験装置	神楽坂	2	42	47	49	54	53	804	845	905	967	976
	加熱装置付走査電子顕微鏡	神楽坂	2	49	33	0	登録抹消		114	95	0	登録抹消	-
	分子集合体構造及びダイナミクス観測装置	神楽坂	5	306	383	498	433	0					0
	非接触表面三次元形状測定及び観察システム	神楽坂	5	54	38	66	71	66	129	111	166	162	183
第一種設備	生体機能画像解析装置	野田	5	19	36	54	15	5	30	79	113	32	32
	原子レベル評価用電子顕微鏡	神楽坂	6	381	512	592	620	467	2,811	3,202	3,998	3,988	2,548
	スーパースーパー微小領域元素分析装置	野田	6	97	393	282	444	245	183	393	282	444	245
	バイオセンサースystem BLAcore	野田	6	*11	96	154	21	*4	*11	*96	*154	*21	
	ナノメーター領域構造解析装置	野田	7	*200	*250	*250	*197	*265					
	遠赤外線分解バルスレーザー設備	野田	7	210	821	624	1,158	1,264	318	467	365	444	638.73
	低真空走査型電子顕微鏡	神楽坂	7	0	3	4	7	7	0	100	15	20	35
	化学発光蛍光RI解析システム	野田	7	84	87	44	28	24	865	789	388	132	86
	エネルギー分散形蛍光X線分析装置	神楽坂	8	241	148	172	235	325	2,637	1,495	1,948	2,475	3,726
	超高温高温物質合成・測定装置	神楽坂	8	46	*59	*61	*58	81		*59			*81
第一種設備	GC/IC/質量分析計	野田	8	158	159	233	131	92	1,738	1,749	2,563	1,441	11
	薄膜X線分析装置	野田	9	542	516	399	568	1,574		243	266	**22,720	**62,960
	FT-NMR	神楽坂	9	81	*72	58	50	30	*81	*72	*58	*50	*30
	赤外線応力画像システム	神楽坂	9						0	0	2,711	3,536	2,763
	複合タンパク質分析装置	野田	10	22	65	4	0	0	174	65	32	0	0
	超高速度時間分解光過程解析装置	野田	10	36	474	359	332	469	345	659	494	491	634
	フェムト秒再生増幅バルスレーザースystem	神楽坂	10	0	0	0	0	0	1,063	807	503	501	200
		野田	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

参考資料Ⅳ-1 機器センター設備利用状況の推移（平成13年度～平成17年度）

（その2）

設備名	設置場所	設置年度	回数（注）*…日数					時間（注）*…日数					*…分							
			平成13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	平成13年度	14年度	15年度	16年度	17年度								
超微量金属元素解析システム	神楽坂	11																		
遺伝子解析システム	野田	11	318	405	342	211	309	309	309	307	323	309	307	428	854					
3核-600MHz クラジエント核磁気共鳴装置	野田	11	580	1,306	1,482	311	240	240	240	872	99,963	2,135	1,766	**51,605	**58,090					
共焦点イメージング顕微分光光度計	野田	12	114	160	134	67	129	260	489	450	203	462								
広帯域電子スピニング装置	神楽坂	12	74	123	160	141	180	180	405	777	1,059	1,010	433							
質量分析計	神楽坂	8	300	413	536	610	401													
薄層材料結晶性解析 X線回折装置	神楽坂	13	185	212	108	108														
薄層材料結晶性評価システム	神楽坂	13																		
全自動元素分析装置	神楽坂	13	408	1,328	1,203	998														
核磁気共鳴装置 (300MHz)	神楽坂	9																		
核磁気共鳴装置 (400MHz)	野田	9																		
核磁気共鳴装置 (500MHz)	神楽坂	9																		
固体専用核磁気共鳴装置	神楽坂	9																		
円二色性分散計	神楽坂	10																		
フーリエ変換赤外吸収分光装置	神楽坂	10																		
飛行時間型質量分析計	神楽坂	11	124		714	451	601													
超伝導 NMR 装置 (AL300)	野田	15			4,810	4,810	3,765													
表面・界面解析用和周波分光システム	神楽坂	14			93	36	59													
プラズマエッチング装置	神楽坂	14			94	79	75													
超高分解能紫外線光電子分光装置	神楽坂	14			20	37	40													
アノログ集積回路チップ解析設備	野田	14			20	100	80													
環境制御型構造顕微鏡装置	神楽坂	15				51	91													
高分解能透過型電子顕微鏡	神楽坂	16					245													
レーザーフッラックシステム	神楽坂	16					67													
液体窒素貯蔵タンク	神楽坂	50	4,605	4,690	4,538	4,452	4,178													
液体窒素 (CE) 設備	野田	53																		

※1 以下の設備は、平成17年度末に機器センターより登録抹消となった。

（第一種設備）

核磁気共鳴装置

（第二種設備）

表面複合解析装置

光電子分光装置

全自動蛍光 X 線分析装置

高温真空二軸疲労試験装置

※2 以下の設備は、平成18年7月3日開催の機器センター運営委員会において新規登録が承認された。

（第二種設備）

電子プロンプマイクロアナライザー

生体高分子相互作用1分子解析装置

核磁気共鳴装置全自動 (400MHz)

DPX300 核磁気共鳴装置

誘導結合プラズマ発光分光分析装置

粉末 X 線回折装置

偏光 X 線分光装置

（第三種設備）

神楽坂地区船河原校舎液体窒素供給設備

参考資料Ⅳ－２ 大型研究設備購入状況の推移

(その1)

区分 年度	設 備 名	金 額 (千円)	設置場所
平成 13	薄膜材料結晶性解析 X 線回折装置	39,900	神楽坂
	タンパク・核酸分離システム**	31,433	葉 学
	組織・細胞分画システム**	32,879	葉 学
	超低温・冷蔵管理システム**	32,180	葉 学
	タンパク分離精製システム**	23,955	葉 学
	核酸分離解析システム**	24,811	葉 学
	電気泳動画像解析システム**	23,549	葉 学
	遺伝子機能解析システム**	24,824	葉 学
	生体分子間相互作用解析システム**	39,770	葉 学
	細胞生体分子相互作用解析システム**	24,725	葉 学
	ゲノム調整クリーンシステム**	18,994	葉 学
	免疫系細胞培養クリーンシステム**	20,215	葉 学
	機能性分子解析クリーンシステム**	16,056	葉 学
	細胞治療クリーンシステム**	16,814	葉 学
	植物用恒温恒湿管理システム**	18,299	葉 学
	動物細胞大量培養システム**	11,623	葉 学
	ショウジョウバエ飼育実験システム**	18,166	葉 学
	生体分子抽出システム**	5,867	葉 学
	機能性分子分離システム**	9,961	葉 学
	バイオインフォマティクス解析用コンピュータシステム**	26,650	葉 学
	遺伝子調整システム**	19,930	葉 学
	高感度迅速構造評価システム	87,000	神楽坂
	DNA シークエンサーシステム**	69,992	葉 学
	マイクロアレイシステム**	53,201	葉 学
	高感度タンパク質・ゲノム構造解析装置**	98,821	葉 学
	高速自動細胞解析分取システム**	115,080	葉 学
	細胞画像解析システム**	83,002	葉 学
	蛋白質単結晶 X 線構造解析装置**	74,970	葉 学
	クライオ高分解能核磁気共鳴装置**	128,940	葉 学
	レーザーイオン化飛行時間型質量分析装置**	49,980	葉 学
	遠隔授業マルチメディアシステム	59,386	全 学
(31 件) 合 計		1,300,973	

参考資料Ⅳ-2 大型研究設備購入状況の推移

(その2)

年度	区分	設 備 名	金 額 (千円)	設置場所
14		3次元 CVD 装置***	29,925	野 田
		超高真空量子ナノ構造形成装置***	19,950	野 田
		トータルバイオ・イメージングシステム***	16,999	野 田
		走査型プローブ顕微鏡***	14,962	野 田
		非球面光学素子仕上げ用イオンビーム加工装置***	9,996	野 田
		キャピラリー電気泳動システム***	6,877	野 田
		多品種目同時固相法自動ベブド合成装置***	6,006	野 田
		電子分光型分析電子顕微鏡観察装置***	99,800	野 田
		アナログ集積回路チップ解析設備	14,385	野 田
		超高分解能光電子分光システム	37,170	神楽坂
		表面・界面解析用和周波分光システム	35,910	神楽坂
		高密度プラズマエッチング装置	53,760	神楽坂
		薬学部新校舎 AV 設備	158,784	薬 学
		薬学校舎ネットワーク構築	133,000	薬 学
(14件) 合 計			637,524	
15		自然光形グロスキャビネット**	20,160	野 田
		共焦点レーザースキャン顕微鏡**	65,488	野 田
		マルチディメンションワークステーション**	25,956	野 田
		Sequence Detection System **	7,371	野 田
		植物遺伝子発現解析システム**	6,142	野 田
		PAM クロロフィル蛍光測定システム**	6,037	野 田
		三次元モールド用電子ビーム描画装置****	36,697	野 田
		表面改質・処理用レーザー****	12,999	野 田
		環境制御型構造観察装置	84,950	野 田
		万能材料試験機	47,848	野 田
		高密度 GRID サーバ環境	18,115	野 田
(11件) 合 計			331,763	
16		BDFACSAria *	50,400	野 田
		画像解析装置*	39,375	野 田
		CCD 単結晶自動 X線構造解析装置*	38,640	野 田
		X線回折-示差走査熱量同時測定装置*	35,658	野 田
		分析/分取精製 LCMS システム*	31,101	野 田
		レーザースキャニングサイトメーター*	27,615	野 田
		細胞機能動態解析システム*	24,391	野 田
		液体クロマトグラフシステム*	19,320	野 田
		レーザー回折式粒度分布測定装置*	15,120	野 田
		超遠心機*	12,894	野 田



参考資料Ⅳ-2 大型研究設備購入状況の推移

(その3)

区分 年度	設 備 名	金 額 (千円)	設置場所
16	4チャンネル水晶発振器バイオセンサー*	9,450	野 田
	ミニスプレードライヤーシステム*	9,450	野 田
	タイムラプス画像解析システム*	7,948	野 田
	超臨界二酸化炭素反応装置*	7,854	野 田
	レーザー光散乱方式粒度分布測定装置*	7,770	野 田
	熱分析装置*	7,560	野 田
	分光光度計システム*	6,804	野 田
	全自動元素分析装置*	6,331	野 田
	超低温細胞保存システム*	5,817	野 田
	顕微鏡画像解析取得システム*	5,292	野 田
	高分解能透過型電子顕微鏡	99,750	神楽坂
	レーザフラッシュ法熱物性値測定装置	18,900	神楽坂
(22件) 合 計		487,440	
17	電界放射走査電子顕微鏡 CL 装置*	54,600	神楽坂
	飛行時間型質量分析装置*	44,982	神楽坂
	高精度 3D 運動計測システム****	7,350	神楽坂
	光電子分光装置*	30,920	神楽坂
	1分子蛍光分析システム*	24,990	神楽坂
	顕微レーザーラマン分光光度計*	19,992	神楽坂
	ICP-MS用レーザーアブレーション装置*	18,900	神楽坂
	光電変換材料結晶成長装置*	10,000	野 田
	高感度 CCD 分光装置*	7,570	神楽坂
	極短パルス光発生装置*	5,103	野 田
	ホリスティックシミュレーター**	19,341	神楽坂
	可視化サーバ**	11,970	野 田
	実験廃棄物総合分析システム	124,950	神楽坂
	核磁気共鳴装置 AV400M-UltraShieldPlus	55,077	神楽坂
	電子プローブマイクロアナライザー	39,900	野 田
	生体高分子相互作用 1分子解析装置	33,547	野 田
(16件) 合 計		509,192	

注： \*印 ハイテク・リサーチ・センター整備事業による  
 \*\*印 学術フロンティア研究推進事業による  
 \*\*\*印 オープン・リサーチ・センター整備事業による  
 \*\*\*\*印 産学連携研究推進事業による

参考資料V-1 山口東京理科大学生涯学習センター事業実績 [平成 17 年度]

事業名		事業内容等	
I 特別講演会	教育講演会	テマ：生きる力と学力 実施日：平成 17 年 11 月 19 日 (土) 会場：本学 5201 教室、5106 教室 (中継) 講師：陰山英男 (尾道市立土堂小学校校長) 受講者：一般、教育関係者	
	山陽小野田市主催 まつりへの出展参加	テマ：パソコンプラネタリウム 実施日：平成 17 年 11 月 3 日 (祝) 会場：山陽小野田祭会場 出展内容：パソコンを使って星座を検索 参加者：一般	
III 学校教育支援プログラム	1. 理科教員のための リカレントセミナー	テマ：環境学習を理科教育に活かす～次世代エネルギーへの挑戦～ 実施日：平成 17 年 8 月 23 日 (火)～24 日 (水) 会場：本学 講師：本学教員および外部講師 受講者：山口県内中学校・高校教員	
	2. 高校生のための 先端技術体験学習 【SPP 事業】	テマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成 17 年 8 月 1 日 (月)～3 日 (水) 会場：本学、山口日本電気㈱、日産化学㈱ 受講者：福岡県立城南高等学校 2 年生	
		テマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成 17 年 8 月 4 日 (木)～6 日 (土) 会場：本学、不二輸送機工業㈱、西部石油㈱ 受講者：山口県立山口高等学校 2 年生	
		テマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成 18 年 3 月 13 日 (月)～14 日 (火) 会場：本学、不二輸送機工業㈱、西部石油㈱ 受講者：山口県立宇部高等学校 2 年生	
	3. 高校生のための 先端技術体験学習 【SPP 事業以外】	テマ：先端技術との Contact in TUSY 実施日：平成 17 年 4 月～ 会場：本学 受講者：県内高等学校 (13 校)	
	4. ジュニア科学教室	テマ：科学実験 実施日：平成 17 年 8 月 8 日 (月) 会場：本学 講師：見山友裕助教授 受講者：近郊小・中学生	
	5. Jr サイエンス事業	テマ：環境のリサイクルから学ぼう 実施日：平成 17 年 9 月 23 日 (金)～24 日 (土)、10 月 1 日 (土) 会場：本学、山口ワイナリー、きららガラス未来館 講師：本学教員および外部講師 受講者：山口県内中学生 (父母参加可)	
IV 市民教養講座	パソコン関係講座	テマ：初心者のためのパソコン講座 実施日：平成 17 年 10 月～12 月 (6 回) 会場：本学 講師：見山友裕助教授 受講者：3 公民館にて募集した一般	
V 科学技術週間	特別工場見学会	テマ：ぶどう畑やワインの製造工程の見学 実施日：平成 17 年 4 月 23 日 (土) 会場：永山酒造合名会社山口ワイナリー 受講者：中・高校生、一般 内容(概要)：文部科学省が毎年実施している科学技術週間の一環として実施	
VI リフレッシュ講座	小学生英語指導者養成講習会	テマ：総合的な学習の時間に対応した外国語教育について 実施日：平成 17 年 4 月～平成 18 年 2 月 会場：本学 講師：島 幸子教授 受講者：小学校教員、英語教育に関心のある方	

参考資料V-2 山口東京理科大学生涯学習センター事業計画〔平成18年度〕

事業名	事業内容等
I 特別講演会	<p>1. 教育・文化講演会                      テーマ：ボケない脳をつくる                      実施予定日：平成18年11月4日(土)                      会場：本学5201教室                      講師：篠原菊紀(諏訪東京理科大学教授)                      受講者：一般</p>
2. 科学講演会	<p>テーマ：青少年向けの科学技術に関するテーマを予定                      実施予定日：オープンキャンパス開催日に合わせて実施予定                      会場：本学5201教室                      講師：科学者またはエンジニアを予定                      受講者：一般</p>
II 地域との連携	<p>山陽小野田市主催                      まつりへの出展参加                      担当：白木委員                      テーマ：未定(各学科から3ブースを予定)                      実施予定日：平成18年10月29日(日)                      会場：山陽小野田祭会場                      出展内容：科学に関する展示または演示実験                      参加者：一般</p>
III 学校教育支援プログラム	<p>1. 理科教員のためのリカレントセミナー                      担当：菅井センター長                      練委員                      テーマ：楽しい理科実験で科学の芽を養う                      実施予定日：平成18年8月2日(水)・3日(木)                      会場：本学                      講師：本学教員および外部講師                      受講者：山口県内中学校・高校教員</p> <p>2. 高校生のための先端技術体験学習【SPP事業】                      テーマ：先端技術とのContact in TUSY                      実施予定日：平成18年8月3日(木)～5日(土)                      会場：本学、山口日本電気(株)、西部石油(株)                      受講者：福岡県立城南高等学校2年生                      テーマ：先端技術とのContact in TUSY                      実施予定日：平成18年8月7日(月)～9日(水)                      会場：本学、山口日本電気(株)、西部石油(株)                      受講者：山口県立山口高等学校2年生                      テーマ：先端技術とのContact in TUSY                      実施予定日：平成19年3月                      会場：本学、山口日本電気(株)、西部石油(株)                      受講者：山口県立宇部高等学校2年生</p> <p>3. 高校生のための先端技術体験学習【SPP事業以外】                      担当：菅井センター長                      テーマ：先端技術とのContact in TUSY                      実施予定日：平成18年4月～                      会場：本学                      受講者：県内高等学校(約10校)</p> <p>4. ジュニア科学教室                      テーマ：科学実験                      実施予定日：平成18年8月                      会場：本学                      講師：見山友裕助教                      受講者：近郊小・中学生</p>
5. Jrサイエンス事業	<p>テーマ：私たちの環境宣言～サイエンスの世界から地球環境を考える～                      実施予定日：平成18年9月23日(土)・24日(日)・30日(土)                      会場：本学、戸田工業(株)、きららガラス未来館                      講師：本学教員および外部講師                      受講者：山口県内中学生(父母参加可)</p>
6. 小中学生のためのおもしろ科学教室	<p>テーマ：科学講義・実験                      実施予定日：平成18年4月～                      会場：本学                      受講者：山陽小野田市内小中学生</p>
IV 市民教養講座	<p>1. パソコン関係講座                      テーマ：市民のためのパソコン講習会(初級編)                      実施予定日：平成18年9月～10月(6回)                      会場：本学                      講師：白木弘之講師                      受講者：一般</p> <p>2. 市民のための英会話講座                      テーマ：市民のためのパソコン講習会(中級編)                      実施予定日：平成18年11月～12月(3回)                      会場：本学                      講師：酒井吉雄助教                      受講者：一般</p>
V 科 学 技 術 週 間	<p>中学生向け科学セミナー                      テーマ：中学生のための地球環境セミナーIN 山口東京理科大学                      実施日：平成18年5月27日(土)                      会場：本学、中国電力(株)新小野田発電所                      受講者：中・高校生、一般                      内容(概要)：文部科学省が毎年実施している科学技術週間の一環として実施(※科学講義の後、工場見学)</p>
VI リ フ レ ッ シ ュ 講 座	<p>1. 教員向けパソコン講習会                      テーマ：教員のためのパソコン講習会                      実施予定日：平成18年8月～9月(3回)                      会場：本学                      講師：酒井吉雄助教                      受講者：山陽小野田市内小学・中学・高校教員</p> <p>2. 教材開発研修会                      テーマ：理科授業向上のための教材開発研修会                      実施予定日：平成18年4月～                      会場：本学                      講師：加納誠教授                      受講者：山陽小野田市内小学・中学教員</p>

参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績〔平成17年度〕

(その1)

名 称	内 容
<p>「スーパーサイエンスハイスクール」 対象：長野県諏訪清陵高等学校</p>	<p>日 時：平成17年5月26日、6月9日 場 所：本学オープンラボ 人 数：4名 テーマ：「光トポグラフィの使用法と指導」 講 師：共通教育センター 助教授 篠原菊紀</p> <p>日 時：平成18年1月18日 場 所：本学コンピュータ教室 人 数：20名 テーマ：「フラクタルへの招待」 講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 相原 伸一</p>
<p>「出前授業」</p> <p>I 学 校 教 育 支 援</p>	<p>日 時：平成17年4月15日 対 象：長野県飯田高等学校 場 所：本学教室 人 数：321名 テーマ：「自分を育てる学び方の工夫 -考える力はどうしたらつくか-」 講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p> <p>日 時：①平成17年4月27日 ②平成17年5月11日 ③平成17年8月31日 ④平成17年9月28日 ⑤平成17年11月9日 対 象：長野県茅野高等学校 場 所：本学教室 人 数：40名 テーマ：①「失敗を成功につなげるには」 ②「超伝導リニアはなぜ超高速か」 ③「自然と遊びながら環境を考える」 ④「脳の中の脳を鍛える」 ⑤「機械制御入門」 講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜 ②共通教育センター 教授 三井田陸郎 ③システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 奈良松範 ④共通教育センター 助教授 篠原菊紀 ⑤システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p> <p>日 時：平成17年6月29日 対 象：組合立甲陵高等学校 場 所：高校教室 人 数：20名 テーマ：「金融ビッグバンはなぜ行われたか」 講 師：経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤忠治</p> <p>日 時：平成17年7月21日 対 象：私立武蔵工業大学第二高等学校 場 所：高校教室 人 数：①30名 ②6名 ③16名 ④14名 テーマ：①「映画で英語に親しむ」 ②「超伝導リニアはなぜ超高速か」 ③「コンビニは何故はやる」 ④「何故、ものが壊れるのか？」 講 師：①共通教育センター 講師 清藤多加子 ②共通教育センター 教授 三井田陸郎 ③経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜 ④システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣</p>

参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績 [平成 17 年度]

(その2)

名 称	内 容
「出前授業」	<p>日 時：平成 17 年 7 月 23 日～25 日            対 象：私立伊那西高等学校            場 所：本学教室            人 数：① 45 名 ② 25 名 ③ 20 名            テーマ：① 「表現の力と論証の力」            ② 「心理的ストレスの仕組と対応」            ③ 「食生活と食ビジネスを考える」            講 師：① 共通教育センター 助教授 関塚正嗣            ② 経営情報学部経営情報学科 教授 田中佑子            ③ 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹</p>
	<p>日 時：平成 17 年 8 月 1 日            対 象：長野県大町北高等学校            場 所：県総合教育センター            人 数：9 名            テーマ：「映画で英語に親しむ」            講 師：共通教育センター 講師 清藤多加子</p>
	<p>日 時：平成 17 年 8 月 8 日・9 日            対 象：長野県蘇南高等学校            場 所：本学教室            人 数：20 名            テーマ：① 「やさしい携帯電話のしくみ」            ② 「リスニングに挑戦」            ③ 「食生活と食ビジネスを考える」            講 師：① システム工学部電子システム工学科 助教授 松江英明            ② 共通教育センター 教授 藤瀬恭子            ③ 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹</p>
	<p>日 時：①平成 17 年 8 月 24 日 ②平成 17 年 11 月 30 日            対 象：山梨県立都留高等学校            場 所：高校教室            人 数：280 人            テーマ：① 「食生活と食ビジネスを考える」            ② 「やさしい携帯電話のしくみ」            講 師：① 経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹            ② システム工学部電子システム工学科 助教授 松江英明</p>
	<p>日 時：平成 17 年 9 月 22 日            対 象：長野県赤穂高等学校            場 所：高校教室            人 数：32 名            テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成 17 年 10 月 14 日            対 象：山梨県立甲府城西高等学校            場 所：高校教室            人 数：12 名            テーマ：「ビットとは？ -情報理論入門-」            講 師：システム工学部電子システム工学科 教授 江原暉将</p>
	<p>日 時：平成 17 年 10 月 26 日            対 象：長野県岡谷工業高等学校生産システム科            場 所：高校教室            人 数：35 名            テーマ：「コンピュータシミュレーションとコンピュータグラフィックス技術」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 和田義孝</p>

Ⅰ 学校教育支援

参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績〔平成17年度〕

(その3)

名 称	内 容
I 学 校 教 育 支 援	<p>「出前授業」</p> <p>日 時：平成17年11月26日            対 象：長野県諏訪清陵高等学校            場 所：高校教室            人 数：①20名 ②20名 ③20名 ④20名            テーマ：①「映画で英語に親しむ」            ②「ハリーポッターの仲間たち」            ③「不思議な材料博物館」            ④「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」            講 師：①共通教育センター 講師 清瀬多加子            ②共通教育センター 教授 藤瀬恭子            ③システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣            ④システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成17年12月1日            対 象：長野県梓川高等学校            場 所：高校教室            人 数：23名            テーマ：「材料の変形と破壊のメカニズム」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣</p>
	<p>日 時：平成17年12月2日            対 象：長野県長野西高等学校            場 所：高校教室            人 数：①30名 ②30名            テーマ：①「金融ビッグバンはなぜ行われたか」            ②「機械制御入門」            講 師：①経営情報学部経営情報学科 助教授 伊藤忠治            ②システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p>
	<p>日 時：①平成17年12月20日 ②平成18年1月26日            対 象：長野県上伊那農業高等学校            場 所：高校教室            人 数：①42名 ②40名            テーマ：①「食生活と食ビジネスを考える」            ②「なぜわたしたちは、自然環境を守ろうとするのか？」            講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹            ②共通教育センター 助教授 関塚正嗣</p>
	<p>日 時：平成18年1月24日            対 象：私立武蔵工業大学第二高等学校            場 所：本学コンピュータ教室            人 数：36名            テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成18年1月24日            対 象：長野県富士見高等学校            場 所：本学教室            人 数：27名            テーマ：「コンビニは何故はやる」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
	<p>日 時：平成18年2月10日            対 象：長野県北部高等学校            場 所：高校教室            人 数：30名            テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>

参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績〔平成17年度〕

(その4)

名 称	内 容
Ⅰ 学校教育支援	<p>「出前授業」</p> <p>日 時：平成18年3月2日            対 象：長野県須坂東高等学校            場 所：高校教室            人 数：①30名 ②30名            テーマ：①「コンビニは何故はやる」            ②「機械制御入門」            講 師：①経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜            ②システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p>
	<p>日 時：平成18年3月2日            対 象：長野県飯山北高等学校            場 所：高校教室            人 数：20名            テーマ：電子サイコロの製作            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 星野祐</p>
	<p>日 時：平成18年3月15日            対 象：長野県上田東高等学校            場 所：高校教室            人 数：30名            テーマ：「小型人型ロボットの動作実演と動作機構の解説」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 講師 市川純章</p>
	<p>日 時：平成18年3月28日            対 象：長野県高遠高等学校            場 所：高校教室            人 数：8名            テーマ：「人間規範型知能ロボット」            講 師：システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 細貝英実</p>
	<p>日 時：平成18年3月28日～30日            対 象：長野県豊科高等学校            場 所：本学教室            人 数：83名            テーマ：①「レオナルド・ダ・ヴィンチの夢」            ②「映画で英語に親しむ」            ③「心理学を学ぶ」            講 師：①システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣            ②共通教育センター 講師 清藤多加子            ③経営情報学部経営情報学科 教授 田中佑子</p>
Ⅱ 市民教養支援	<p>「サイエンス夢合宿」            主催：本学            共催：財団法人長野県科学振興会            後援：長野県教育委員会・諏訪広域圏地域づくり事業実行委員会</p> <p>日 時：平成17年7月30日～31日            対 象：長野県内の小学校5・6年生の親子            場 所：本学            人 数：92名            内 容：科学全般に興味を持ってもらう身近なテーマについて実験室等を使用しての体験学習。            本学セミナーハウスに親子で宿泊して実施。            講 師：本学教員 10名</p>
	<p>「チャレンジ!!サイエンスパーク2005」            主催：わくわくサイエンス推進事業実行委員会</p> <p>日 時：平成17年9月11日            対 象：小学生及びその家族            場 所：松本市あがたの森文化会館            参集者：約2,000人            内 容：科学体験・創作活動等            講 師：共通教育センター 助手 斎藤隆</p>

参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績〔平成17年度〕

(その5)

名 称	内 容
Ⅱ 市民教養支援	<p>「出前授業」</p> <p>日 時：平成17年4月11日            対 象：食生活改善推進協議会諏訪支部            場 所：原村中央公民館            人 数：80名            テーマ：「コンビニは何故はやる」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
	<p>日 時：平成17年6月27日            対 象：長野県諏訪保健所            場 所：諏訪合同庁舎            人 数：100名            テーマ：「食生活と食ビジネスを考える」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 山腰光樹</p>
	<p>日 時：平成17年7月7日・8月2日            対 象：茅野商工会議所青年部            場 所：本学教室            人 数：40名            テーマ：「企業成長と価値分析」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 田中雅康</p>
	<p>日 時：平成17年8月24日            対 象：茅野商工会議所            場 所：茅野商工会議所            人 数：25名            テーマ：「コンビニは何故はやる」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
	<p>日 時：平成17年11月8日            対 象：関東信越税理士会諏訪支部            場 所：諏訪商工会議所            人 数：70名            テーマ：「国際問題時事解説」            講 師：共通教育センター 教授 川上洋一</p>
	<p>日 時：平成17年12月3日            対 象：エンジョイライフ 三井の森            場 所：青少年自然の森            人 数：20名            テーマ：「地球を壊さない暮らし方を考える」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
	<p>日 時：①平成18年1月17日 ②平成18年3月14日            対 象：原村中央公民館 ふれあい学級            場 所：原村中央公民館            人 数：20名            テーマ：①「私たちの暮らしとエネルギー」                      ②「不思議な材料博物館」            講 師：①システム工学部電子システム工学科 講師 平田陽一                      ②システム工学部機械システムデザイン工学科 教授 西山勝廣</p>
	<p>日 時：平成18年2月10日            対 象：山梨県高等学校教育研究会「教育情報・視聴覚部会」            場 所：甲府南高校            人 数：50名            テーマ：「情報社会ってどんな社会？これからどう変わっていくの？」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 七松敏</p>



参考資料Ⅵ-1 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム実績〔平成17年度〕

(その6)

名 称	内 容
Ⅱ 市民教養支援	<p>日 時：平成18年3月14日            対 象：諏訪市公民館「市民大学講座」            場 所：諏訪市文化センター            人 数：100名            テーマ：「コンビニは何故はやる」            講 師：経営情報学部経営情報学科 教授 津久井英喜</p>
Ⅲ 資格取得講座	<p>日 時：①入門講座 平成17年6月18日、19日、7月1日            ②発展講座 平成17年10月29日、11月5日、11日            対 象：本学学生            場 所：本学教室            人 数：①3名 ②8名            講 師：①共通教育センター 講師 清藤多加子            ②共通教育センター 教授 藤瀬恭子</p>

参考資料Ⅵ-2 諏訪東京理科大学生涯学習プログラム計画〔平成18年度〕

名 称		内 容
市民 教養 支援	「サイエンス夢合宿」 主催：本学 共催：財団法人長野県科学振興会 後援：長野県教育委員会・ 諏訪広域圏地域づくり事業実行委員会	日 時：平成18年7月29日～30日 対 象：長野県内の小学校5・6年生の親子 場 所：本学 人 数： 名 内 容：科学全般に興味を持ってもらう身近なテーマについて実験 室等を使用しての体験学習。 本学セミナーハウスに親子で宿泊して実施。 講 師：本学教員 10名
	「出前授業」	※申し込みがあった時点で実施

参考資料Ⅶ-1 生涯学習センタープログラム [平成 18 年度]

(その1)

講座番号	講座名称	開催日 (期間)	曜日	時間	回数	受講者数	単発受講等	備考
資格取得・試験対策講座								
06E001	東京理科大学アクチュアリー試験対策講座 - 数学コース -	H18.4.29~9.2	土	6.0	17	39		
06E002	東京理科大学アクチュアリー試験対策講座 - モデリングコース -	H18.9.9~9.30	土	6.0	3	40		
06E003	アクチュアリー試験対策 はじめての保険数理	H18.4.15~4.22	土	6.0	2	29		
06E004	気象予報士試験対策講座 学科コース	H18.5.13~8.5	土・日	3.0	22	12		8/5 は 9:00~18:30
06E006	気象予報士試験対策講座 実技コース	H18.5.14~8.5	土・日	3.0	18	7		8/5 は 9:00~18:30
06E008	気象予報士試験対策講座 再チャレンジコース	H18.5.13~8.5	土・日			23		
06E009	気象予報士試験対策講座 - 入門コース (はじめての気象予報士対策) -	H18.4.15~4.29	土	6.5	3	10		
06E010	気象予報士試験模擬試験	H18.8.5	土	8.5	1	24		13:00~13:50 昼休み
06E011	危険物取扱者試験対策講座 (野田キャンパスで開催)	H18.5.27~6.17	土	3.0	4	22		
06E013	公害防止管理者試験対策講座 - 大気1種コース -	H18.5.27~7.1	土	3.0	6	33		
06E015	A・F・T 色彩検定 3 級試験対策講座	H18.4.23~6.18	日	4.0	7	18		6/18 は 10:00~13:00
06E017	A・F・T 色彩検定 2 級試験対策講座	H18.4.23~6.18	日	4.0	8	11		6/18 は 14:00~17:00
06E019	少しの選いで大きく変わる!! 4 日間集中レッスン リーディング&ライティングスキラップクラス	H18.6.3~6.24	土	5.0	4	11		
06E021	初めての TOEIC テストチャレンジクラス (野田キャンパスで開催)	H18.5.23~6.27	火	2.0	6	15		5/23 は 18:00~19:30
06E023	100 点アップを目指す目からウロコの TOEIC テスト対策講座	H18.5.25~7.6	木	2.0	7	13		
06E025	TOEFL-ITP	H18.6.3	土	2.5	1	47		
06C501	東京理科大学アクチュアリー試験対策講座 - 生保と年金の数理コース -	H18.10.7~12.9	土	6.0	10			
06C502	東京理科大学アクチュアリー試験対策講座 - はじめての確率・統計 -	H19.1.13~1.27	土	6.0	2			
06C601	気象予報士試験対策講座 - 学科コース -	H18.10.7~H19.1.13	土・日	3.0	22			1/13 は 9:00~18:30
06C602	気象予報士試験対策講座 - 実技コース -	H18.10.8~H19.1.13	土・日	3.0	18			1/13 は 9:00~18:30
06C611~5	気象予報士試験対策講座 - 再チャレンジコース -	H18.10.7~H19.1.13	土・日					1/13 は 9:00~18 2:30
06C603	気象予報士試験対策講座 - 入門コース (はじめての気象予報) -	H18.9.24~10.1	土・日	6.5	3			
06C604	気象予報士試験模擬試験	H19.1.13	土	8.5	1			
06C701	危険物取扱者試験対策講座	H18.10.21~11.11	土	3.0	4			
06C702	公害防止管理者試験対策講座 - 水質1種コース -	H19.1.20~3.10	土	3.0	6			
06C703	A・F・T 色彩検定 3 級試験対策講座	H18.9.10~10.29	日	4.0	7	0		10/29 は 10:00~13:00
06C704	A・F・T 色彩検定 2 級試験対策講座	H18.9.10~10.29	日	4.0	8			10/29 は 14:00~17:00
06C801	少しの選いで大きく変わる!! 4 日間集中レッスン リーディング&ライティングスキラップクラス	H18.11.4~11.25	土	5.0	4			
06C802	初めての TOEIC テストチャレンジクラス (野田キャンパスで開催)	H18.10.24~11.28	火	2.0	6			10/24 は 18:00~19:30
06C803	100 点アップを目指す目からウロコの TOEIC テスト対策講座	H18.10.26~12.14	木	2.0	7			

参考資料Ⅶ-1 生涯学習センタープログラム [平成 18 年度]

(その 2)

講座番号	講座名称	開催日 (期間)	曜日	時間	回数	受講者数	単発受講等	備考
06C804	TOEFL-ITP	H18.12.2	土	2.5	1			
専門実務講座								
06B003	MOT (技術経営) 大学院エッセンス講座Ⅵ「若手技術者のためのMOT入門」	H18.5.10～5.31	水	2.0	4	22		
06B005	MOT (技術経営) 大学院エッセンス講座Ⅶ「シニアマネージャーのための戦略」	H18.6.7～7.12	水	2.0	4	32		6/14、7/5は休講
06B001	MIP (知財戦略) 大学院エッセンス講座Ⅱ「知的財産プロフェッショナルへの道」	H18.7.6～7.20	木	2.0	3	30		
06B007	物性推算の基本から応用まで	H18.5.9～7.4	火	2.0	5	0		隔週開講
06B009	Excelを活用する 科学技術計算講座	H18.9.6～9.7	水→木	5.0	2	6		回数は日数
06B011	機械系設計者のための3D-CAD/CAE体験入門セミナー	H18.8.7～8.8	月～火	6.0	2	1		回数は日数
06B013	環境マネジメントシステム構築講座	H18.9.2～9.9	土	7.0	2	1		
06B015	ライフサイクルを考慮した環境配慮設計システムの構築講座	H18.9.30	土	7.0	1	1		
06B017	シスコCCNA 講座 2	H18.4.15～7.15	土	5.5	11	9		
06B019	シスコCCNA 講座 4	H18.4.15～7.15	土	5.5	11	6		
05C001	第49回理数系教員のためのリフレッシュセミナー (理科：生物)	H18.3.25～3.26	土～日	6.5	2	35		回数は日数
05C012	第50回理数系教員のためのリフレッシュセミナー (数学)	H18.3.26～3.27	日～月	5.5	2	171		回数は日数
06B501	MOT (技術経営) 大学院エッセンス講座Ⅷ イノベーション～組織、事業、技術の革新を考える～	H18.10.4～10.25	水	2.0	4			
06B502	MIP (知財戦略) 大学院エッセンス講座Ⅲ「知的財産プロフェッショナルへの道」	H18.10.26～11.9	木	2.0	3			
06B503	シスコCCNA 講座 1	H18.9.30～H19.1.13	土	5.5	12			
06B504	シスコCCNA 講座 3	H18.9.30～H19.1.13	土	5.5	12			
06Z00	第22回 兼学講座	H18.10.21	土	5.0	1			
一般講座								
05C014	数学を楽しむ講座 - 空間「∞むげん」へのご招待 -	H18.3.25	土	3.0	1	186		
06A001	大人向け科学教室「仮説実験授業《程度のもんだい》」	H18.6.11	日	4.0	1	21		
06F001	小学生と保護者向け科学教室「仮説実験授業《もしも原子が見えたなら》」	H18.8.26～8.27	土～日	5.0	2	50		2回目は9/30、10/1
06F003	親子科学教室	H18.7.27～7.29	木～土		1	52		2泊3日
06A004	鉄道～電車の仕組みと海外的鉄道～	H18.7.22	土	3.0	1	29		
06A005	ゲーム理論入門 - 人と人との間の意思決定 -	H18.5.13～6.24	土	1.5	6	44		
06A007	身近なOR (オペレーション・リサーチ) - 一株の売買と待ち行列 -	H18.6.2～6.23	金	1.5	4	39		
06A009	漢方の古典籍にみられる病の見方と治療法	H18.7.1～7.15	土	2.0	2	101		
06A010	アロマテラピーによる春のマイナーセラピーのケア方法について	H18.4.11～4.25	火	2.0	3	93		

参考資料Ⅶ-1 生涯学習センタープログラム [平成 18 年度]

(その 3)

講座番号	講座名称	開催日 (期間)	曜日	時間	回数	受講者数	単発受講等	備考
06A011	食による予防医学の時代 その3 -健康は自然との調和と共生-	H18.9.9~10.14	土	2.0	5	49		
06A012	アンチエイジングシリーズ 若々しい肌を保つために	H18.5.13	土	1.5	1	85		
06A013	アンチエイジングシリーズ 一生自分の歯で食べよう	H18.6.3	土	1.5	1	40		
06A014	アンチエイジングシリーズ 毛髪科学	H18.9.30	土	2.0	1	28		
06A015	アンチエイジングシリーズ 老化とCOPD	H18.8.5	土	2.0	1	25		
06A030	小学校時代が大切な理由-知的な親になるには?小学生を持つ親の皆さんへの教育メッセージ-	H18.8.27	日	2.0	1	33		2回目は10/1
06A017	浮世絵 -浮世絵を楽しむ-	H18.4.13~6.15	木	1.5	8	35		
06A016	浮世絵と数学 -江戸の浮世絵を解析する-	H18.7.1~9.2	土	1.5	8	35		
06A018	シリーズ神楽坂学 江戸切絵図編 (街学)	H18.5.13~6.10	土	2.0	3	19		
06A019	シリーズ神楽坂学 江戸切絵図編 (街歩き)	H18.6.24	土	2.0	1	21		
06A501	鉄道 ~電気鉄道と安全運行の仕組み~	H19.1.20	土	3.0	1			
06A502	近代科学資料館セミナーI 少年少女実験教室 ~電池と遊ぼう~	H18.10.7~10.21	土	2.0	3			
06A503	近代科学資料館セミナーII ミクロの世界を探検する ~もしも原子がみえたら~	H19.3.3~3.17	土	4.0	3			
06A504	遺伝子・BSE・地球温暖化	H18.12.2	土	4.5	1			
06A505	ITとメディアの最新テクノロジーを知ろう ~iPod、携帯電話、インターネット~	H18.10.28	土	4.5	1			
06A506	エコエネルギーと建築物の安全 ~エコと安全の両立を目指して~	H18.11.11	土	4.5	1			
06A507	新聞ににぎわす最先端技術を知ろう ~ナノテク・ハイブリッド・ハイビジョン~	H18.11.18	土	4.5	1			
06A601	身近なOR(オペレーションズ・リサーチ)-有名な2、3の問題と株の売買	H18.11.10~12.1	金	1.5	4			
06A602	人を動かす「話の共学」講座	H18.10.7	土	4.0	1			
06A701	『傷寒論』にみられる病の見方と治療法	H19.2.3~2.17	土	2.0	2			
06A702	アロマテラピーによるマイナートラブルのケア方法について ~治療家による実践セミナー~	H18.11.9~11.30	木	2.0	3			
06A703	アンチエイジングシリーズ 運動習慣と健康長寿 ~活性酸素の効用~	H18.11.18	土	1.5	1			
06A704	アンチエイジングシリーズ 超高齢社会における幸福とは ~百寿者・超高齢者研究の結果から~	H19.2.24	土	1.5	1			
06A705	アンチエイジングシリーズ 酸化ストレスに対する生体の応答 ~活性酸素・フリーラジカルに対する防御のしくみ~	H19.3.10	土	1.5	1			
06A706	アンチエイジングシリーズ 脳血流を調整する神経 ~そのはたらきと老化~	H19.1.27	土	1.5	1			

参考資料Ⅶ-1 生涯学習センタープログラム [平成 18 年度]

(その 4)

講座番号	講座名称	開催日 (期間)	曜日	時間	回数	受講者数	単発受講等	備考
06A801	「生きている」魅力	H18.11.11～12.2	土	1.5	4			
06A802	宝石学入門 - 身近な宝石をより深く知るために -	H18.10.7～10.14	土	2.0	2			
06A803	浮世絵 - 浮世絵を楽しむ -	H18.10.19～12.14	木	1.5	8			
06A804	浮世絵と数学 - 江戸の浮世絵を解析する -	H19.1.13～3.10	土	1.5	8			
06A805	シリーズ神楽坂学 文学篇 「神楽坂・早稲田を彩った文豪・作家たち」早稲田・神楽坂文士村を歩く	H18.10.7～10.21	土	1.5	2			10/21 は 13:00～15:30
06A807	新宿の歴史あれこれ 伝説・伝承編 大都会新宿に秘められた歴史と伝説に迫る	H18.11.18～12.2	土	2.0	2			12/2 は 10:00～15:30
06A809	江戸東京の火災の歴史Ⅱ～歩いて防災を考える～	H18.10.14	土	4.0	1			
東京理科大学のための講座								
06M001	毎日の英会話 (神楽坂)	5月～12月	月～金		100	135		
06M002	毎日の英会話 (九段)	5月～12月	月～金		100	62		
06M003	毎日の英会話 (野田)	5月～12月	月～金		100	367		
	経営学部英会話プログラム	5月～12月	月～金		45	31		
06D001	教員採用試験対策講座 - 直前コース -	H18.4.16～5.28	日	36.0	6	36		
06G021	教員採用試験対策講座 - 3年生準備コース -	H18.10.15～12.17	日	51.0	9			
06G022	教員採用試験対策講座 - 合宿コース -	H19.3.21～3.23	日	26.0	1			2泊3日
	受講者数合計	-	-	-	-	2,284	-	-

(注) 受講者数は、平成 18 年 6 月 22 日現在のものである。

参考資料Ⅶ-2 諏訪東京理科大学の地域との交流状況〔平成 18 年度〕

区分	名 称	内 容
高大連携	「国際文化学院生徒見学会」	日 時：平成 18 年 5 月 16、17、23 日 人 数：44 名
	「長野工業高校生徒見学会」	日 時：平成 18 年 6 月 9 日（金） 人 数：204 名
	「長野東高校生徒見学会」	日 時：平成 18 年 6 月 13 日（火） 人 数：22 名
	「望月高校生徒見学会」	日 時：平成 18 年 6 月 14 日（水） 人 数：30 名
	「岡谷工業高校生徒見学会」	日 時：平成 18 年 6 月 29 日（木） 人 数：30 名
	「スーパーサイエンスハイスクール」	日 時：平成 17 年度～平成 22 年度 対 象：長野県諏訪清陵高等学校 内 容：①本学学長の運営指導委員会委員就任 ②本学教員の指導講師派遣
	「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」	日 時：平成 18 年 対 象：長野県駒ヶ根工業高校 内 容：①本学教員の指導講師派遣
	「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」	日 時：平成 18 年度 対 象：長野県茅野高等学校 内 容：①本学教員の指導講師派遣
	「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」	日 時：平成 18 年度 対 象：茅野市内小学校 内 容：講座型学習活動
	「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」	日 時：平成 18 年度 対 象：教員研修 内 容：授業の新しいやり方についての研修
地域連携	「上川アダプトプログラム」	日 時：平成 16 年 4 月 16 日（日）、6 月 17 日（土） 内 容：茅野市内の河川環境をはじめ、市内全域の環境を守ろうとする市民意識の高揚を図ることを目的に、川岸の決められた範囲を学生・教職員ボランティアでゴミ拾いを実施。
	「茅野市こどもまつり」	日 時：平成 16 年 6 月 4 日（日） 内 容：本学ホビー部が、簡単な工作や、科学実験をブースで参加
（各種委員派遣事業）	「茅野市新技術・新製品開発事業審査会」	委 員：機械・西山教授 主 催：茅野市
	「長野県テクノ財団理事及び評議員」	理 事：学長 評議員：機械・西山教授 主 催：財団法人長野県テクノ財団
	「諏訪広域圏地域づくり事業実行委員会委員」	委 員：経営・石森教授 主 催：諏訪広域連合
	「茅野市環境審議会委員」	委 員：機械・奈良教授 主 催：茅野市
	茅野市都市計画審議会委員	委 員：機械・奈良教授 主 催：茅野市

参考資料区ー1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その1)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
昭和 59 年 (1984 年)	創刊号	生涯教育と大学
	8月号	パソコン時代
	9月号	コンピュータで生体を探る
	10月号	リモートセンシング
	11月号	黒い資源
	12月号	火と煙
昭和 60 年 (1985 年)	1月号	現代 科学技術の誕生
	2月号	日本列島 冬の気候
	3月号	生活空間の科学
	4月号	科学と人生
	5月号	生産の側から見た食糧問題
	6月号	かび
	7月号	健康と文化環境
	8月号	数学—最近の応用から
	9月号	液晶
	10月号	技術的可能性を追求する CAD
	11月号	ミクロの世界を見る
	12月号	さび
昭和 61 年 (1986 年)	1月号	暦—その起源と東西交流
	2月号	21 世紀を目指す数学教育
	3月号	VLSI を理解する
	4月号	科学・技術の今日と明日
	5月号	知能ロボットへの道
	6月号	時と時間
	7月号	地図の世界
	8月号	水と生活
	9月号	鉄の科学
	10月号	地底からの情報
	11月号	眼—その細胞と分子
	12月号	病気の診断



参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その2)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
昭和 62 年 (1987 年)	1 月号	光と生活
	2 月号	経営の新しいトピックス
	3 月号	ホルモンの営み
	4 月号	先端技術を支える基礎工学
	5 月号	和算
	6 月号	森林の科学
	7 月号	建築構造の世界
	8 月号	航空機の安全性
	9 月号	環境創造のための土木技術
	10 月号	くすり
	11 月号	超新星を捕えた 東京理科大学山口短期大学
	12 月号	醸造一酒
昭和 63 年 (1988 年)	1 月号	画像
	2 月号	脳—その生理と薬理
	3 月号	あいまいさの科学—FUZZY is fuzzy
	4 月号	国際化時代の理工系大学教育
	5 月号	スーパーコンピュータ
	6 月号	乗り物
	7 月号	マンガン団塊—新しい金属鉱物資源
	8 月号	現代数学の世界
	9 月号	老化と寿命の科学
	10 月号	レーザーで何ができるか
	11 月号	色彩心理と生活
	12 月号	ものの中をみる
平成元年 (1989 年)	1 月号	超高層の今
	2 月号	くすりの副作用
	3 月号	品質管理の現状と展望
	4 月号	理科教育の今日
	5 月号	高温超伝導体 東京理科大学生命科学研究所
	6 月号	プラズマの科学と先端材料
	7 月号	都市の地下にもぐる
	8 月号	高温超伝導体 (2) 応用と作り方
	9 月号	きのこ
	10 月号	数学・数理・情報科学
	11 月号	自動車の科学
	12 月号	高機能性分離膜

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その3)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成2年 (1990年)	1月号	巻頭対談—わが国の理工学高等教育
	2月号	東京物理学講習所“坊っちゃん”たちの青春
	3月号	就職幹事座談会—よく学び、よく選び、よく働こう
	4月号	新春座談会—大学生生活を振り返る
	5月号	企業が求める人間像
	6月号	東京理科大学における理恵会の役割
	7月号	大学院幹事座談会—大学院の意義と現状
	8月号	「物理学のすすめ」座談会
	9月号	東京理科大学諏訪短期大学の開設にあたって
	10月号	工学部の歩み—歴代工学部長による座談会
	11月号	教職への案内と今後の方針
	12月号	教職へのすすめ—理科大卒の高校校長による座談会
平成3年 (1991年)	1月号	新春対談—理事長と新学長の対談
	2月号	これからのコンピュータ教育 その1
	3月号	これからのコンピュータ教育 その2
	4月号	「化学文献所在目録」刊行の思い出
	5月号	企業内教育について
	6月号	理工系大学における英語教育
	7月号	座談会—長万部の思い出 特集—大気エアロゾル
	8月号	女性先輩大いに語る
	9月号	東京物理学校創立110周年記念(1)
	10月号	東京物理学校創立110周年記念(2)
	11月号	博士になるまで
	12月号	卒業研究を語る
平成4年 (1992年)	1月号	座談会—国際化に向けて
	2月号	環境とエネルギー 4年生の就職観について
	3月号	座談会—中堅企業の魅力を語る
	4月号	座談会—修士学生の生活と意見
	5月号	座談会—発見への旅 理工学部の25年
	6月号	座談会—帰国子女から見た理科大学の生活
	7月号	座談会—地学のすすめ
	8月号	座談会—国家公務員としての活躍を語る
	9月号	特集—耐震
	10月号	講演記録—国際的ルールを守り「日本型経営」を刷新する
	11月号	特集—激動の現代
	12月号	特集—激動の現代(2)

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その4)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成5年 (1993年)	1月号	地球環境Ⅰ
	2月号	地球環境Ⅱ
	3月号	一人一説高温超伝導
	4月号	セラミックス
	5月号	高電圧の世界
	6月号	生体と情報処理
	7月号	超伝導
	8月号	橋梁
	9月号	ウイルス
	10月号	人工結晶
	11月号	計算力学
	12月号	天文学を支える最新の観測技術
平成6年 (1994年)	1月号	科学と社会・歴史
	2月号	極限の化学
	3月号	建築設計とコンピュータ その最前線
	4月号	数学、ここが好きここが嫌い
	5月号	エネルギーの現状と施設
	6月号	雷の制御と安全対策
	7月号	物理学校雑誌からSUTへ
	8月号	アレルギー
	9月号	ことばの科学
	10月号	ロボット
	11月号	センサ
	12月号	ゆらぎと快適感
平成7年 (1995年)	1月号	海洋環境
	2月号	界面を探る
	3月号	都市景観計画
	4月号	真空は今!
	5月号	分子で探る生物の進化
	6月号	日本型経営
	7月号	組み合わせ論の世界
	8月号	光通信
	9月号	軽く、小さく、強い電池
	10月号	無重力の世界
	11月号	マルチメディア
	12月号	楽しい科学実験

参考資料区－1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その5)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成8年 (1996年)	1月号	阪神・淡路大震災から1年経って
	2月号	空気清浄技術
	3月号	国際単位と基礎標準
	4月号	話題の医科学
	5月号	超々高層建築への挑戦
	6月号	暮らしの中のマイクロカプセル
	7月号	エコマテリアル
	8月号	南極
	9月号	無線通信システム
	10月号	スポーツと科学
	11月号	身近なところで役立っている放射線
	12月号	最近の発明にみる新しい技術
平成9年 (1997年)	1月号	素粒子と宇宙
	2月号	実験心理学
	3月号	小さな機械の世界
	4月号	過去を探る科学
	5月号	宇宙と生命
	6月号	電子顕微鏡はここまで進歩した
	7月号	原子をどこまで見分けられるか
	8月号	エネルギーと環境
	9月号	遺伝子利用で今、何ができるか
	10月号	関数論の美しさ－その玲瓏な境地
	11月号	建築都市空間の復元・保存・再生
	12月号	フラレンとナノチューブの科学
平成10年 (1998年)	1月号	数学教育と論理的思考力
	2月号	医用材料最近の進歩 (1)
	3月号	医用材料最近の進歩 (2)
	4月号	マルチメディアとセキュリティ
	5月号	液晶の応用－ディスプレイの現状
	6月号	これからの薬剤師－医療の現場で－
	7月号	これからの住まいを考えるための3つの観点
	8月号	ゴミ、処理と行方
	9月号	インテリジェント材料とその化学
	10月号	ミクロな粉の科学
	11月号	細菌処理技術の進歩
	12月号	焼結の科学

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その6)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成 11 年 (1999 年)	1 月号	Satellite
	2 月号	待ち行列
	3 月号	光関連新素材としてのニューガラス
	4 月号	21 世紀に活躍する新しい動物たち
	5 月号	静電気とハイテクノロジー
	6 月号	ドーム建築の今日
	7 月号	印刷技術
	8 月号	ナノサイエンス・ナノテクノロジーと光化学
	9 月号	乗り物に見る科学
	10 月号	変わる数学教育
	11 月号	現在の宇宙観
	12 月号	プラズマの応用技術
平成 12 年 (2000 年)	1 月号	古文化財の分析
	2 月号	現代社会が招き入れる“エマージングウイルス”
	3 月号	金融工学のフロンティア
	4 月号	福祉科学・人間工学の創造を
	5 月号	医療とセンサ
	6 月号	エレベータとエスカレータ
	7 月号	バイオメトリクス
	8 月号	太陽光発電技術
	9 月号	接着剤
	10 月号	マルチ機能材料としてのシリコーン
	11 月号	超音波
	12 月号	泡

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その7)

理大 科学フォーラム		
発行年	発行月	ビジョン
平成 13 年 (2001 年)	1 月号	21 世紀と科学技術 生命科学の課題
	2 月号	原文雄工学部長に聞く インターネットビジネスと Yahoo!Japan
	3 月号	野田地区を生命科学のパークに JABEE と大学における技術者教育の動向
	4 月号	森戸祐幸氏が母校に多額の寄付 科学者の卵たちへのメッセージ
	5 月号	リサーチパークへの夢 初等教育での数学教育のあり方
	6 月号	海と環境 建造物の世界遺産・アメリカとカナダ
	7 月号	産業界から大学への提言 産業官連携のあり方
	8 月号	創立 120 周年に想う 我々の生活に数学は必要なのだろうか
	9 月号	東京理科大学 TLO への取り組み 科学技術の成果と特許情報
	10 月号	生き残り策、企業も大学も同じ 注目される技術士制度
	11 月号	免疫学の最前線 チベット建築への旅
	12 月号	情報化時代の大学図書館 極地の環境
平成 14 年 (2002 年)	1 月号	本学の将来構想 -特にハード面において-
	2 月号	誌上対談 / 小浦延幸理事長に聞く 新しい器にどのような酒を注ぐか
	3 月号	卒業するにあたって 正しい地震情報の見分け方
	4 月号	耐性菌はどうして生まれたか 太陽ニュートリノ問題とニュートリノ振動
	5 月号	人間の寿命と日本列島 高速・高周波デバイス
	6 月号	発酵と人類の知恵 震災への備え
	7 月号	未踏の研究分野への挑戦 科学者の社会的責任
	8 月号	数学教育と人づくり マイクロマシンとナノシステム
	9 月号	Excel による科学技術計算入門 数学教育と脳機能
	10 月号	薬学の今後 製薬企業におけるゲノム臨床開発における試み
	11 月号	人間関係とカウンセリング 問題行動の解決のために
	12 月号	ニュートリノ天文学の夜明け ISO のマネジメントシステム

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その8)

理大 科学フォーラム		
発行年	発行月	ビジョン
平成 15 年 (2003 年)	1 月号	人体実験の 731 部隊から見た科学 (者) のあり方 今年度のノーベル化学賞, ノーベル医学生理学賞
	2 月号	大学における知的財産 加速器科学の発展
	3 月号	卒業するにあたって 意思決定を数理的にサポートする数理計画法
	4 月号	理事長就任にあたって 創業研究の未来
	5 月号	ルイ・パスツール大学との学術交流 ナノ・カーボンの科学と技術
	6 月号	山口東京理科大学の夢 ロストック大学訪問記
	7 月号	学術交流提携校 ヴィスマール大学訪問記 がんの分子標的治療
	8 月号	枠組みにとらわれず新たな挑戦を MRSA と VRSA, その化学療法剤とゲノムの話
	9 月号	環境とバイオテクノロジー 神経の再生
	10 月号	脳科学が予見する未来社会の姿 新幹線と地震
	11 月号	私が学んだ学者への道 個性化・多様化の時代に生きる
	12 月号	DDS 研究センターの目指すもの ポストゲノムとタンパク質工学
平成 16 年 (2004 年)	1 月号	理事長に聞く新年の抱負と夢 これからの理科教育
	2 月号	ゼロからの出発 「利雪研究」と「克雪研究」
	3 月号	卒業おめでとう 十勝沖地震と地盤の液状化
	4 月号	入学おめでとう バイオ医薬品
	5 月号	座談会教育に活かそう福祉科学・人間工学 おもしろ健康教材
	6 月号	共同研究に想う 微分解析機
	7 月号	創刊 20 周年 無機発光材料の新しい展開
	8 月号	中国における最近の産官学連携の状況 松本サリン事件における原因物質の検索とその分解物の挙動
	9 月号	エジソンになりそこねた男 ストレスと疾患
	10 月号	お肌の健康と化粧・美容の科学 照明の新時代
	11 月号	第 42 回学位取得者記念祝賀会における講演特集 記念講演: グローカリゼーション
	12 月号	特集/オープンキャンパスで学ぶ PET を利用したがんの診断

参考資料区-1 SUT Bulletin・理大 科学フォーラムの特集題目

(その9)

SUT Bulletin		
発行年	発行月	特集題目
平成 17 年 (2005 年)	1 月号	対談：日本の教育の未来を考える／講演：やればできる
	2 月号	対談：日本の教育の未来を考える (2)
	3 月号	対談：日本の教育の未来を考える (3)
	4 月号	入学おめでとう／維持同盟の礎
	5 月号	特集／東京理科大学の教育力：長万部キャンパス
	6 月号	神楽坂地区再構築／小倉金之助の数学教育論を授業実施して
	7 月号	125 周年記念の開始に寄せて／夏休みの読書
	8 月号	特集／東京理科大学発ベンチャー企業
	9 月号	特集／セミナーハウス特別講義「ストレスと病気」 －酸化ストレスの疾病への関与とその防御を探る－
	10 月号	特集／第 43 回 学位取得者記念祝賀会・記念講演
	11 月号	特集／'05 野田オープンキャンパス
	12 月号	特集／'05 神楽坂・久喜・山口・諏訪オープンキャンパス
平成 18 年 (2006 年)	1 月号	特集／現代化学の最先端
	2 月号	特集／躍動する新薬学部
	3 月号	特集／卒業するにあたって
	4 月号	特集／新入生へのメッセージ 科学者の卵たちへ
	5 月号	特集／創立 125 周年記念 (I)
	6 月号	特集／創立 125 周年記念 (II) 記念イベント
	7 月号	特集／台風 (ハリケーン)
	8 月号	特集／セミナーハウス特別講義 ナノテクノロジーの現状と将来
	9 月号	特集／東京理科大学創立 125 周年記念式典・祝賀・サイエンスフェア・イベント
	10 月号	特集／第 44 回 学位取得者記念祝賀会・記念講演
	11 月号	特集／'06 神楽坂・九段・久喜・山口オープンキャンパス
	12 月号	特集／'06 野田・諏訪オープンキャンパス